

妻^{つま}の冬^{ふゆ}籠^{ごも}り

貸し出された肉^{カラダ}体

R-18
成人向け

ナナシノベル



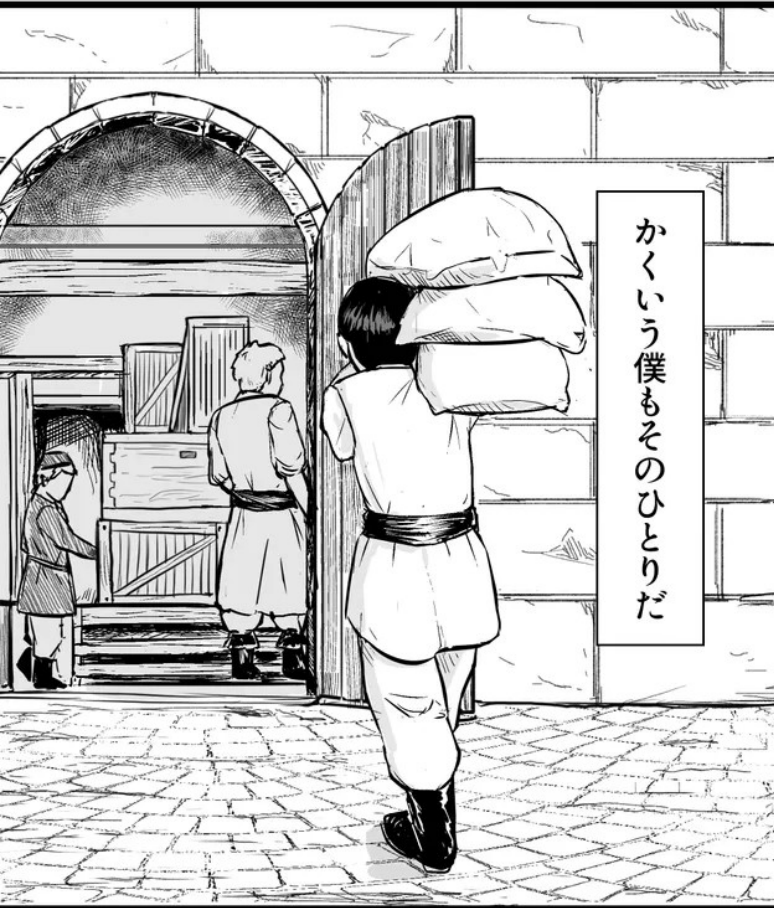
タブ暦 278 年

港町 キコニア

物流の中継地となる
この港町は毎年春から
多くの商品が取引される



かくいう僕もそのひとりだ



自然 働き口を求めた若者が
近隣の村々から出稼ぎにきていた

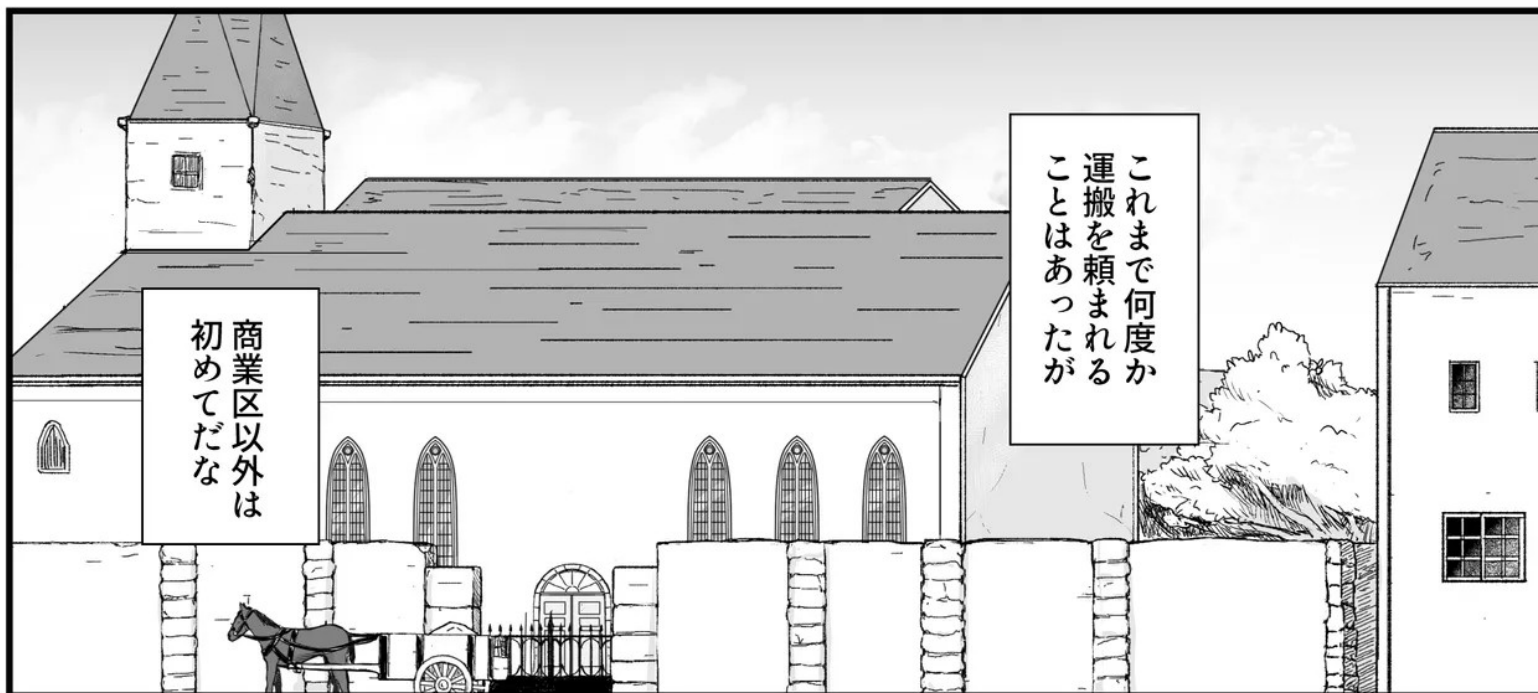


おいハンス!

ボスッ

はい?







でっ

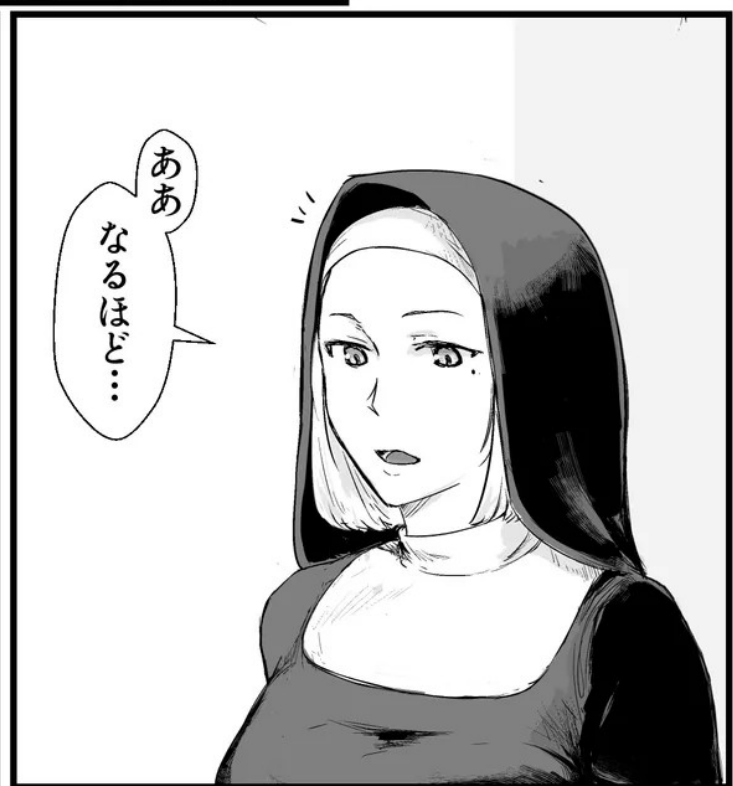
お待たせいたしました

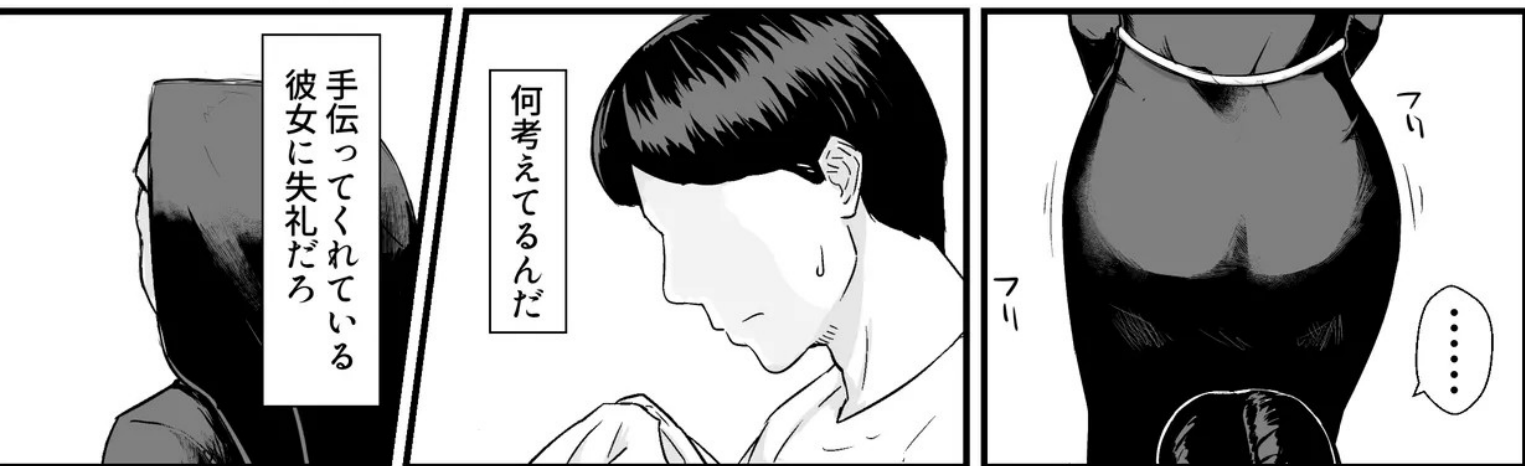
何かご用でしょうか

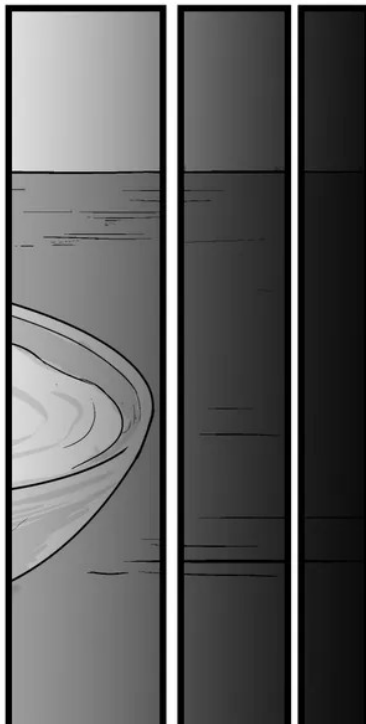
でっ

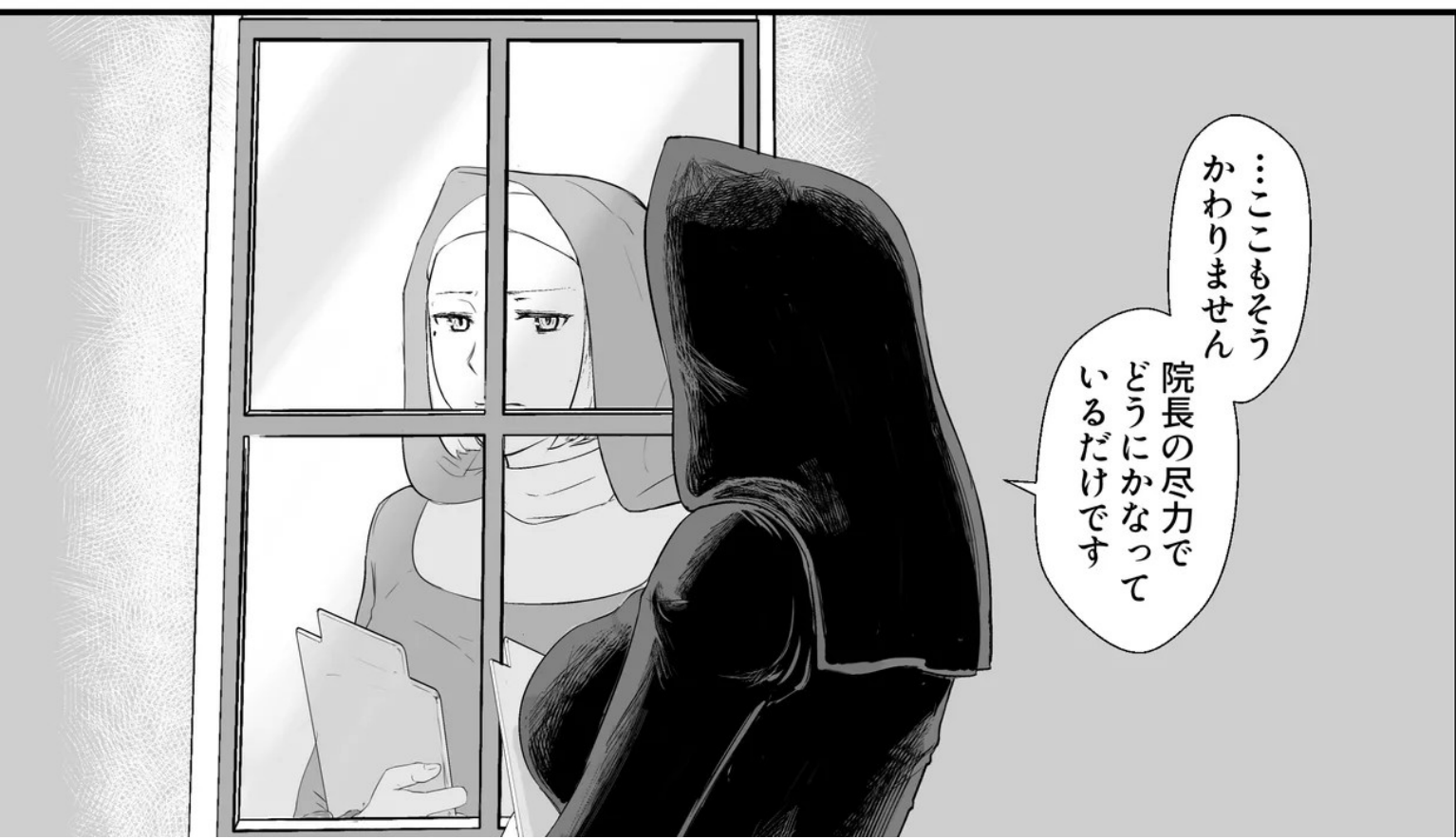
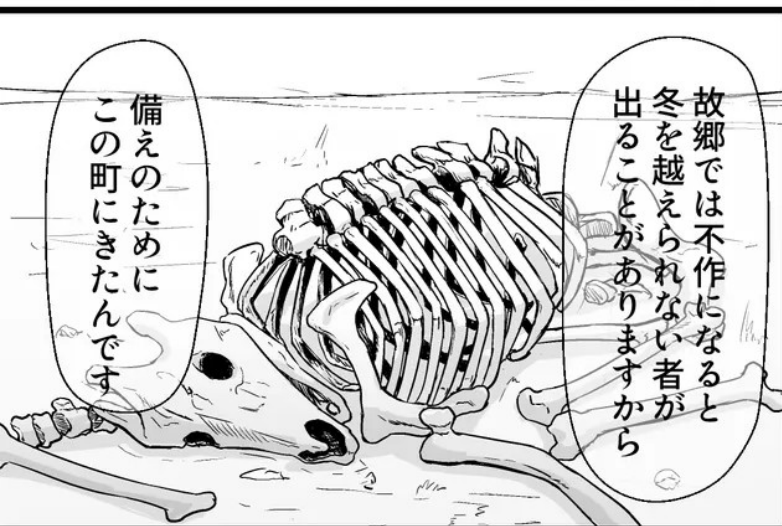
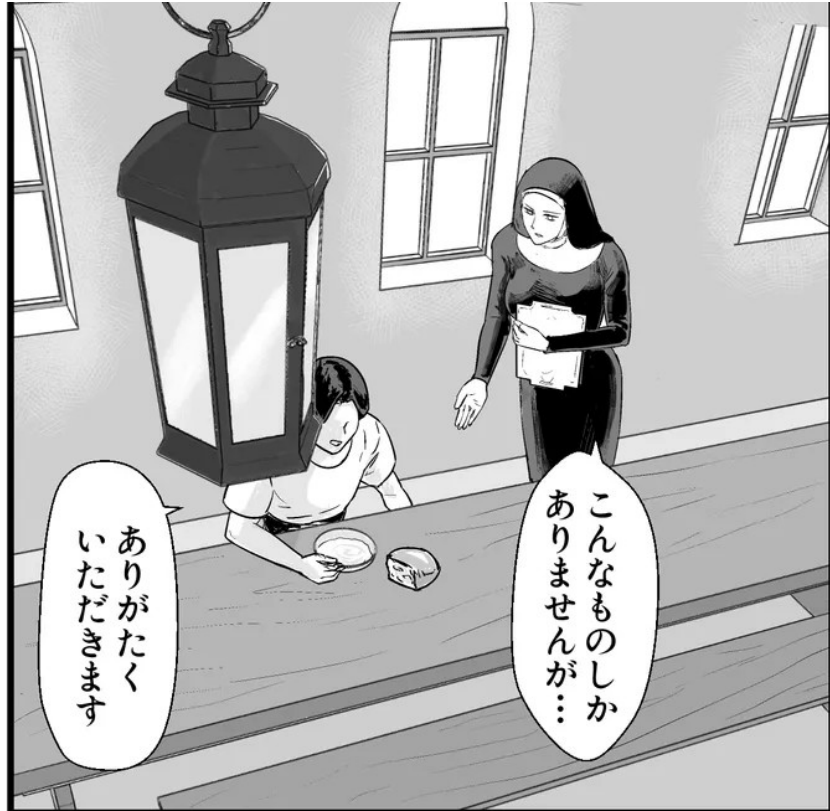
でかいっ

……色々と









A black and white manga panel showing a woman with long dark hair wearing a black hooded dress. She is holding a stack of papers or folders. She has a serious expression. The background shows a window and a wall.

この時僕は不謹慎にも
苦悩する彼女の横顔を
美しいと感じた

A close-up black and white manga panel of the woman's face. She is looking slightly to the side with a thoughtful or longing expression.

この人の笑顔を
見てみたいと...

A black and white manga panel showing a man with short dark hair. He has a surprised or shocked expression, with wide eyes and an open mouth.

同時に



さつさとそいつを
3番倉庫にもってけ!

なにぼーっと
してんだ

お、重い…



強く思った――

んがっ



なんの口実
もないしな



あれ以来彼女とは
会っていない

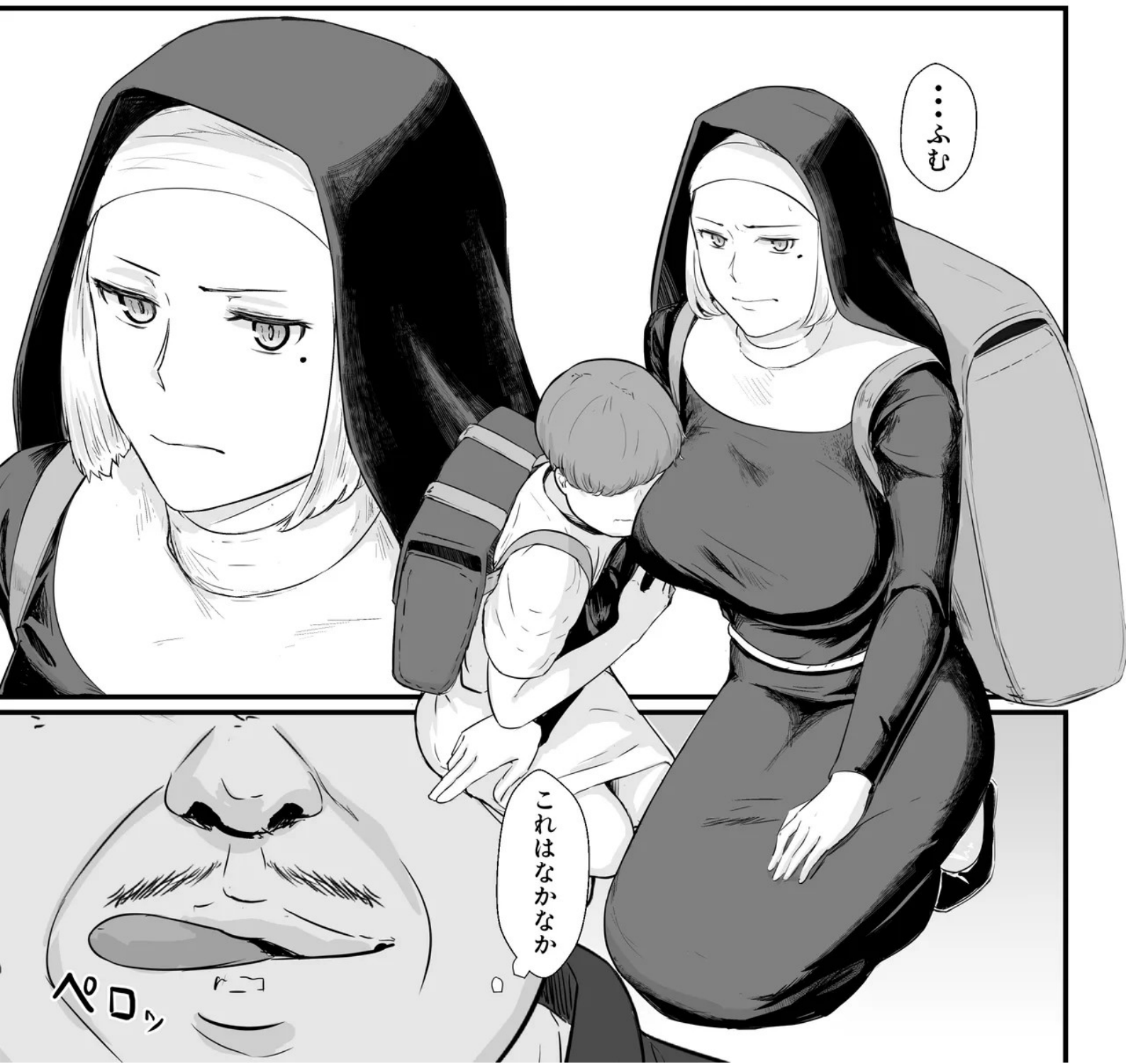


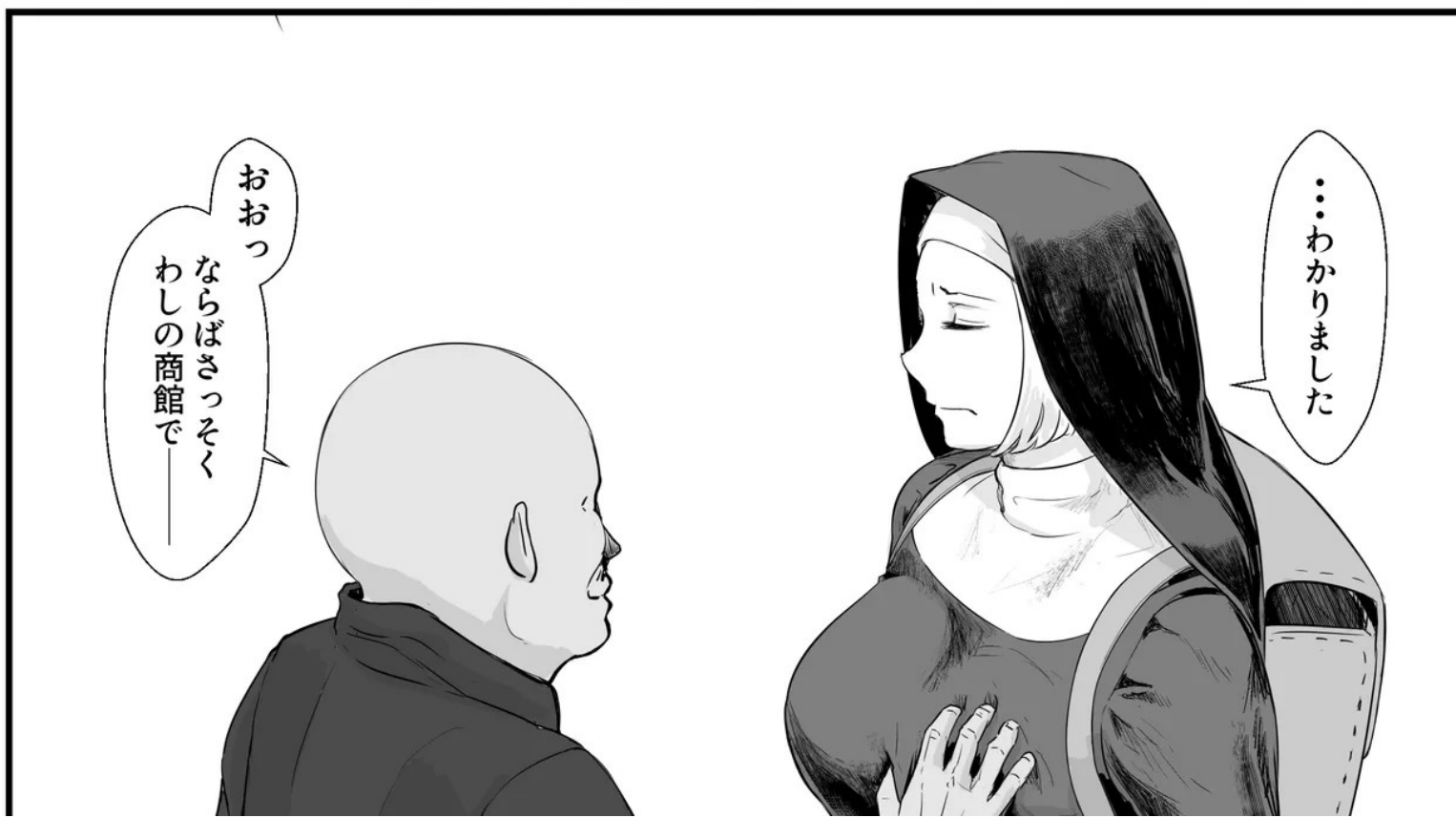
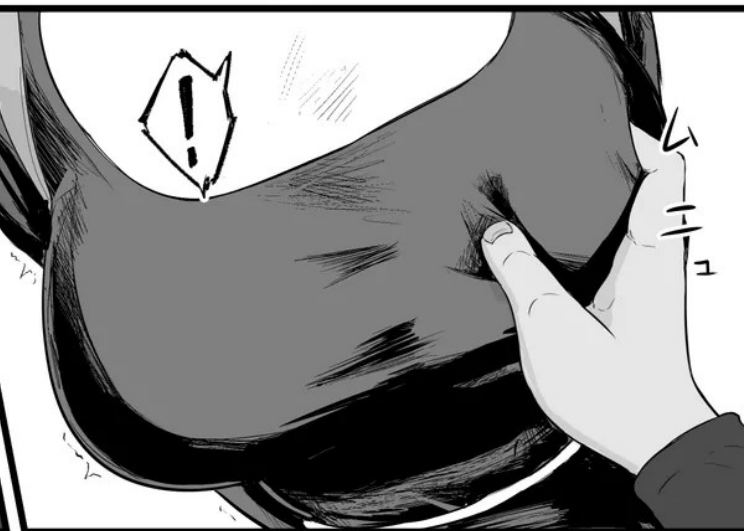
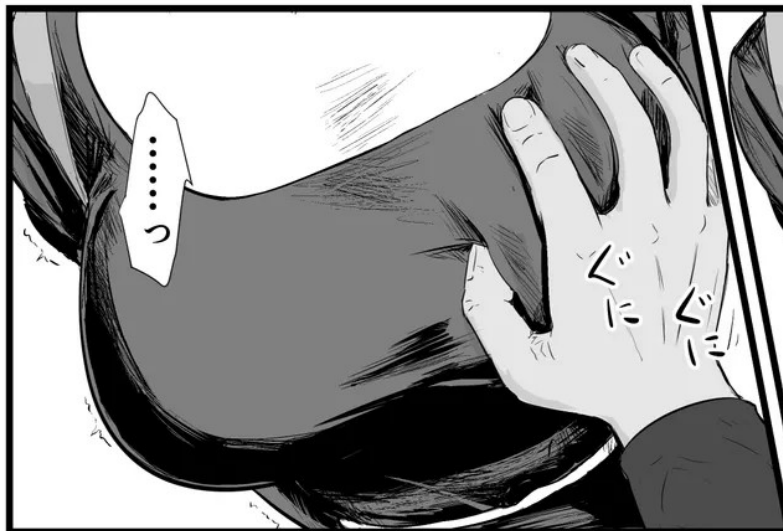
あれは…

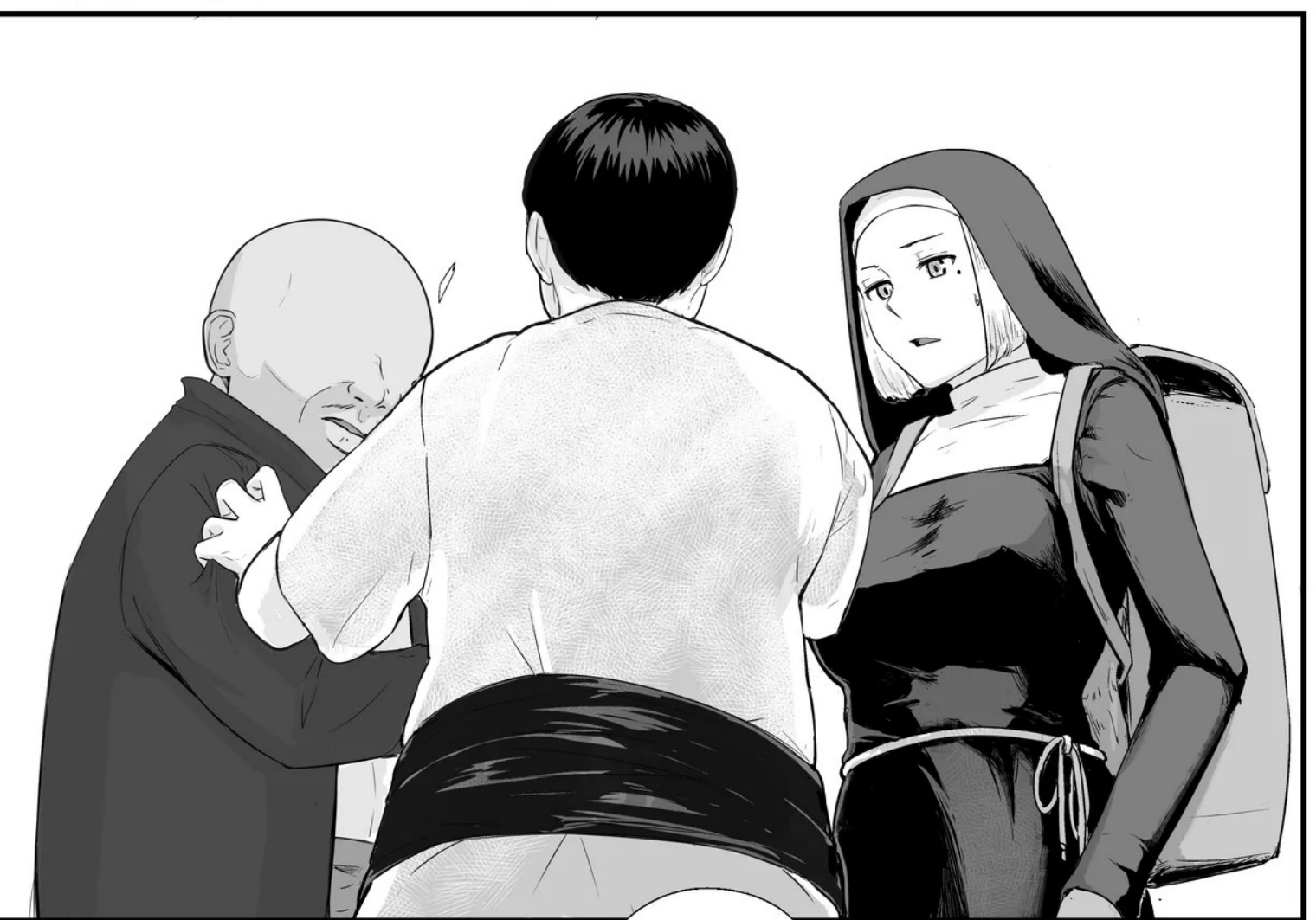
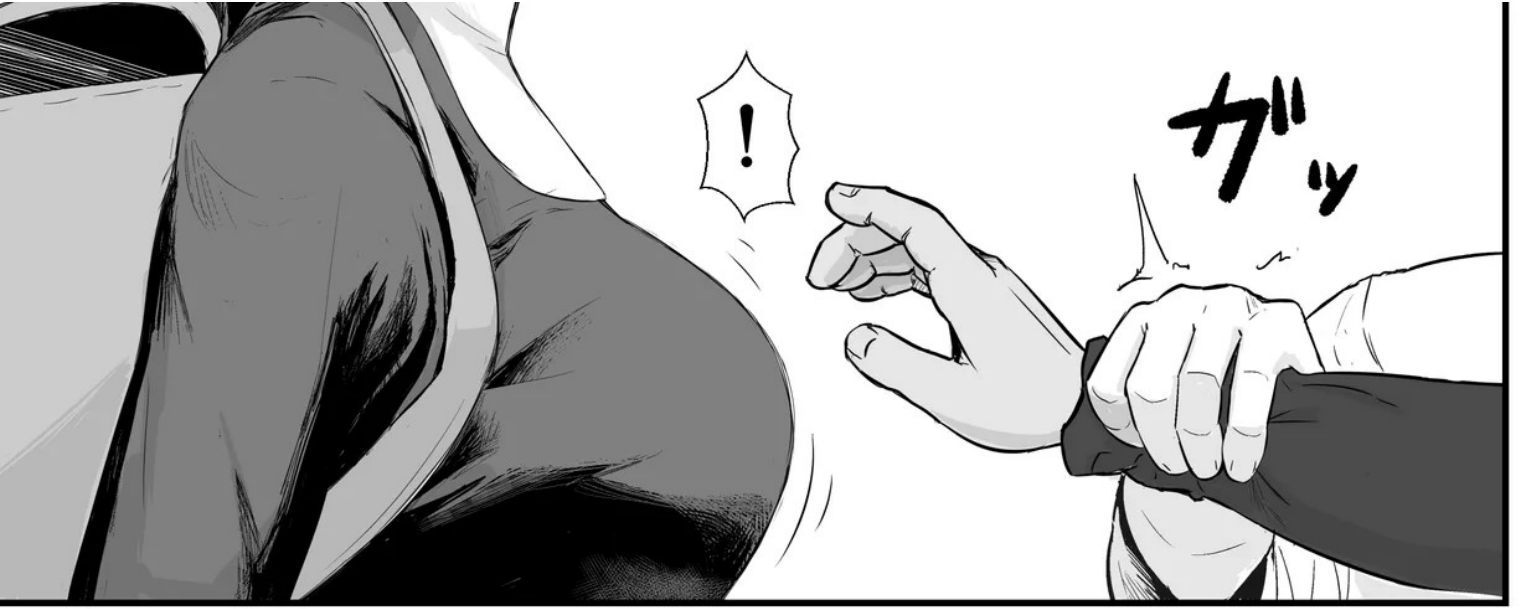




ふんっ
私には関係ない……









…ですが
あのお金は



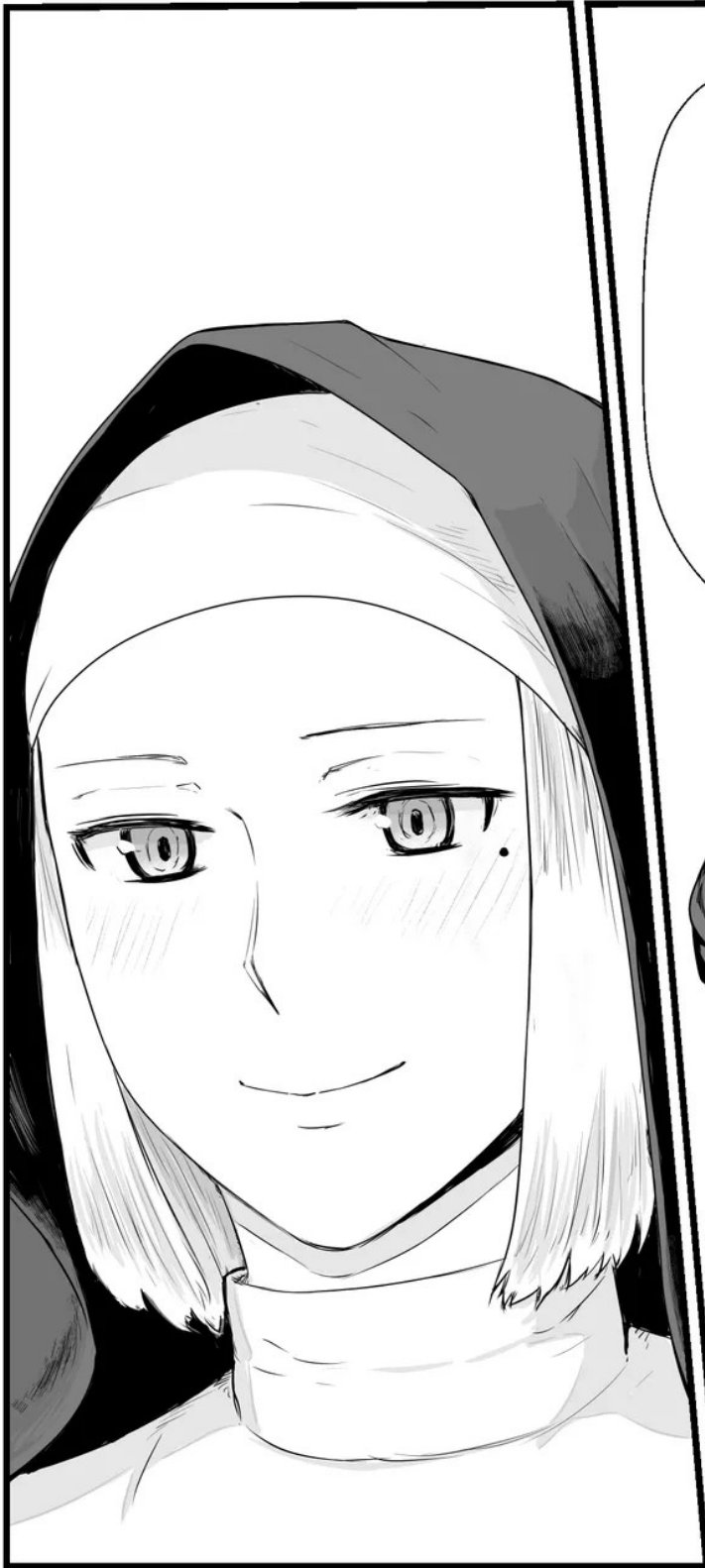




えっ



是非今度
いらしてください！



お待ちしております！





こちらにまた戻って
来られるのですか



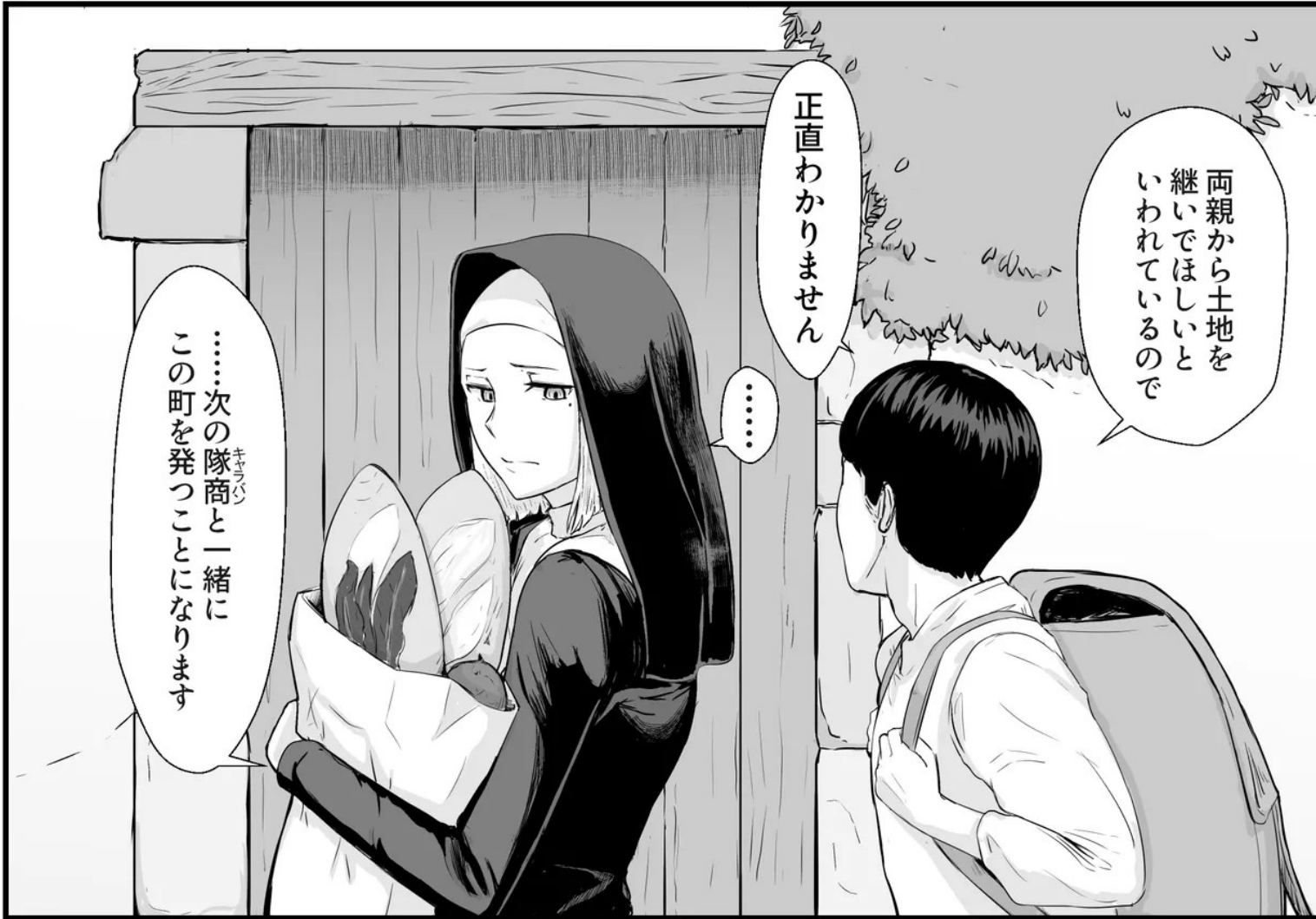
冬は町の仕事が
減りますし

飢えた獣から
家畜を守らなければ
なりませんから



故郷に帰る？

はい



正直わかりません

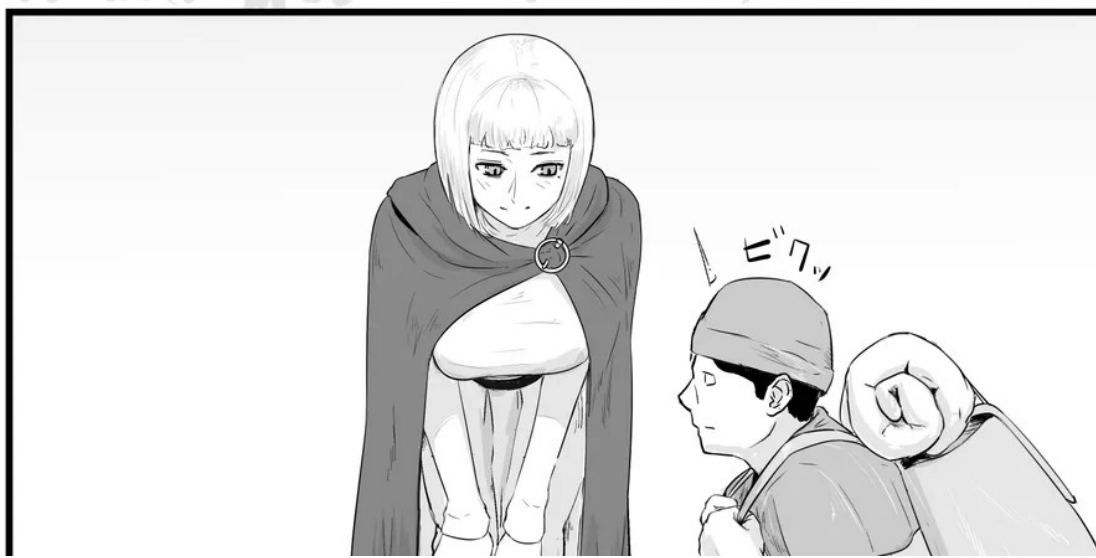
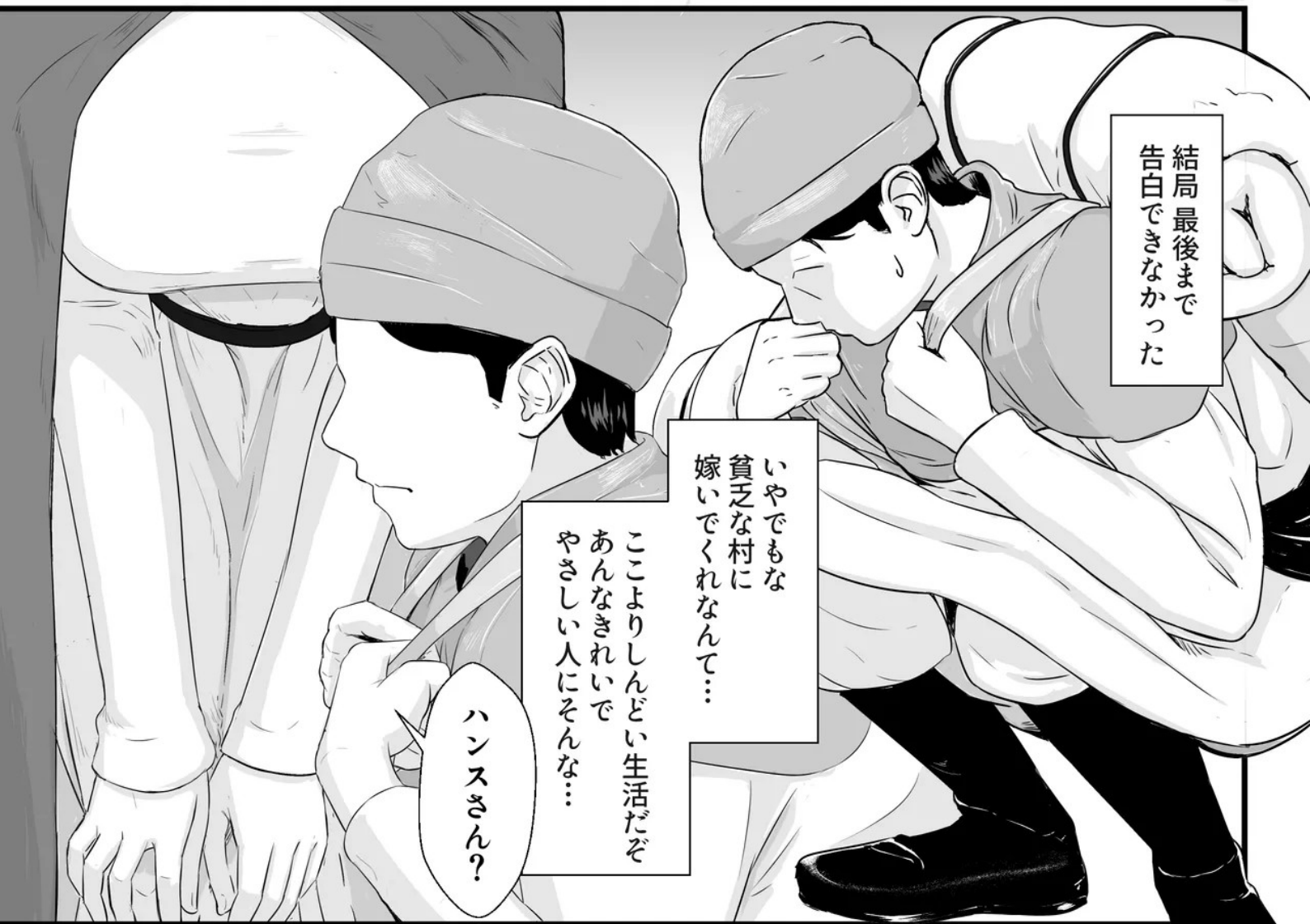
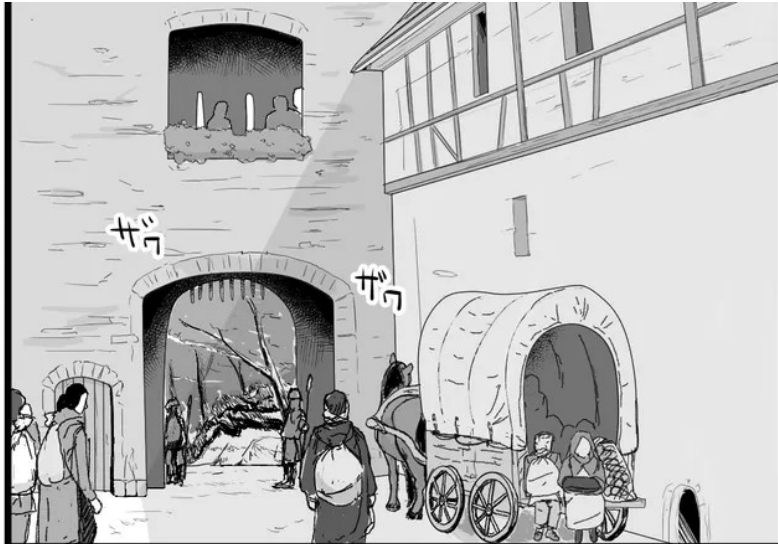
両親から土地を
継いでほしいと
いわれているので

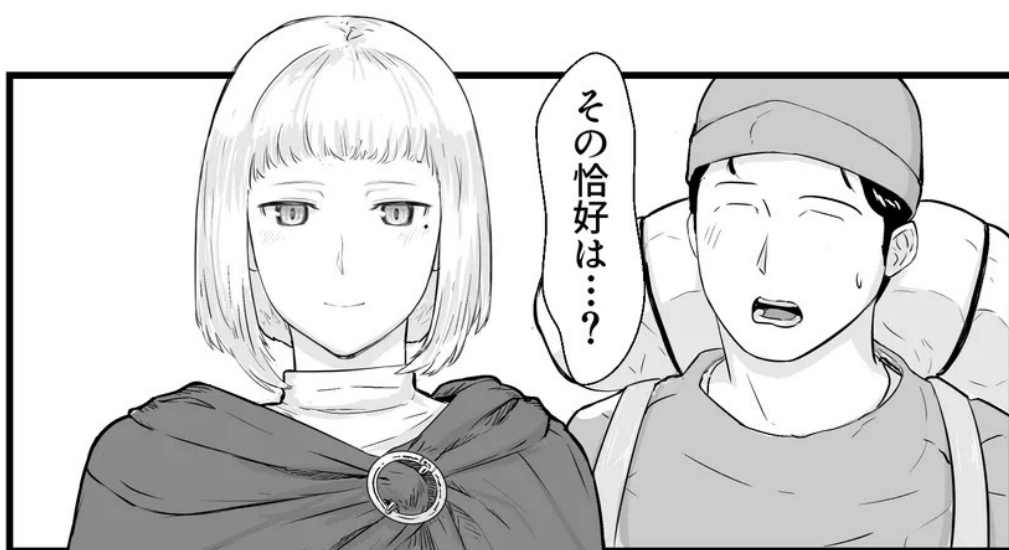
……

……次の隊商^{キャラバン}と一緒に
この町を発つことになります

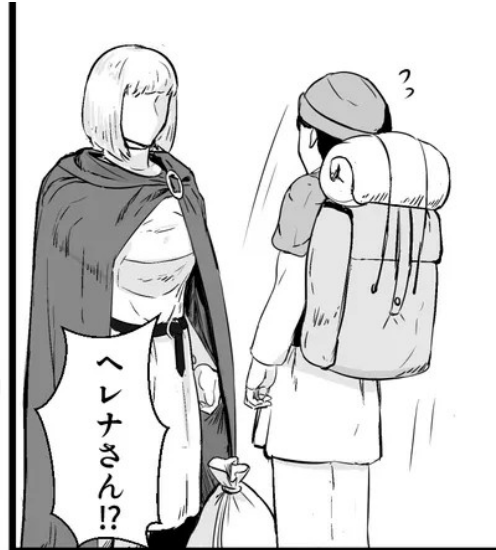


そう…ですか





その恰好は…？



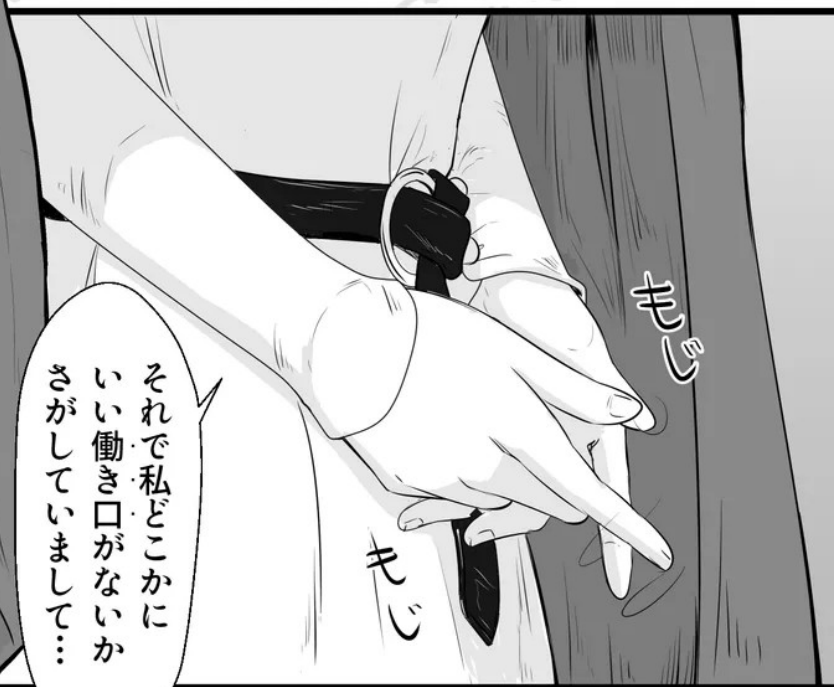
ヘレナさん!?



実は私、孤児院から
ひまを出されました…

ええっ？

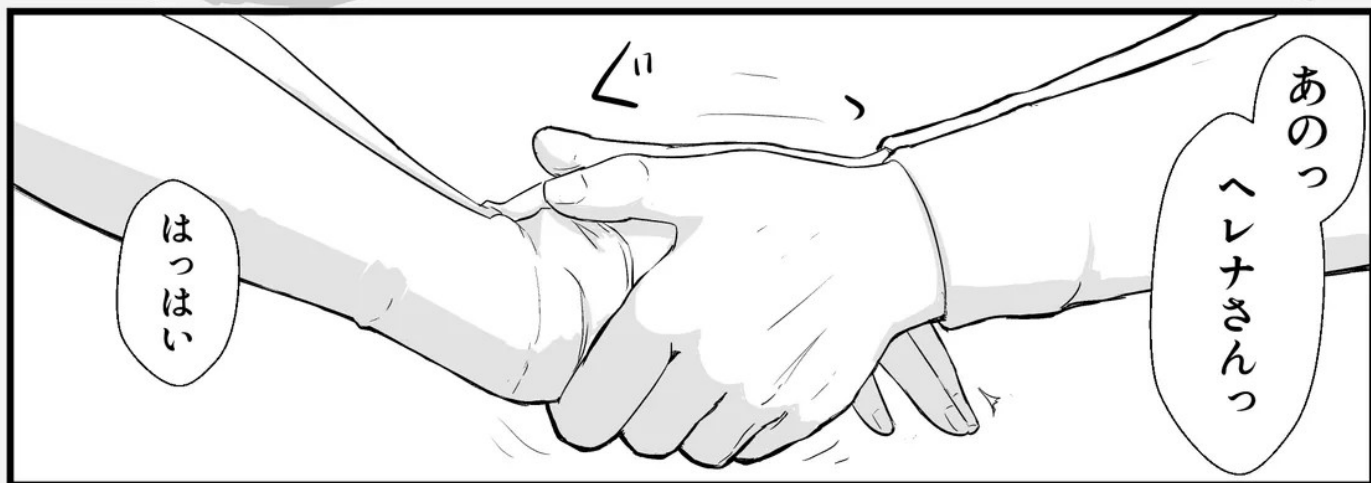
年長の子たちに後を
譲ることになりました



もじ

もじ

それで私どこかに
いい働き口がないか
さがしています…



タブ
暦
281
年

レプルス王国
カウダ地方の辺境に
厳しい冬が訪れていた



少なくない数の命が
春を迎えることなく
消えることになった

不作の年でも
あったためか



しかし

ある豪農の計^{はか}らいで
ほとんど犠牲を出さずに
冬をこえた村があった

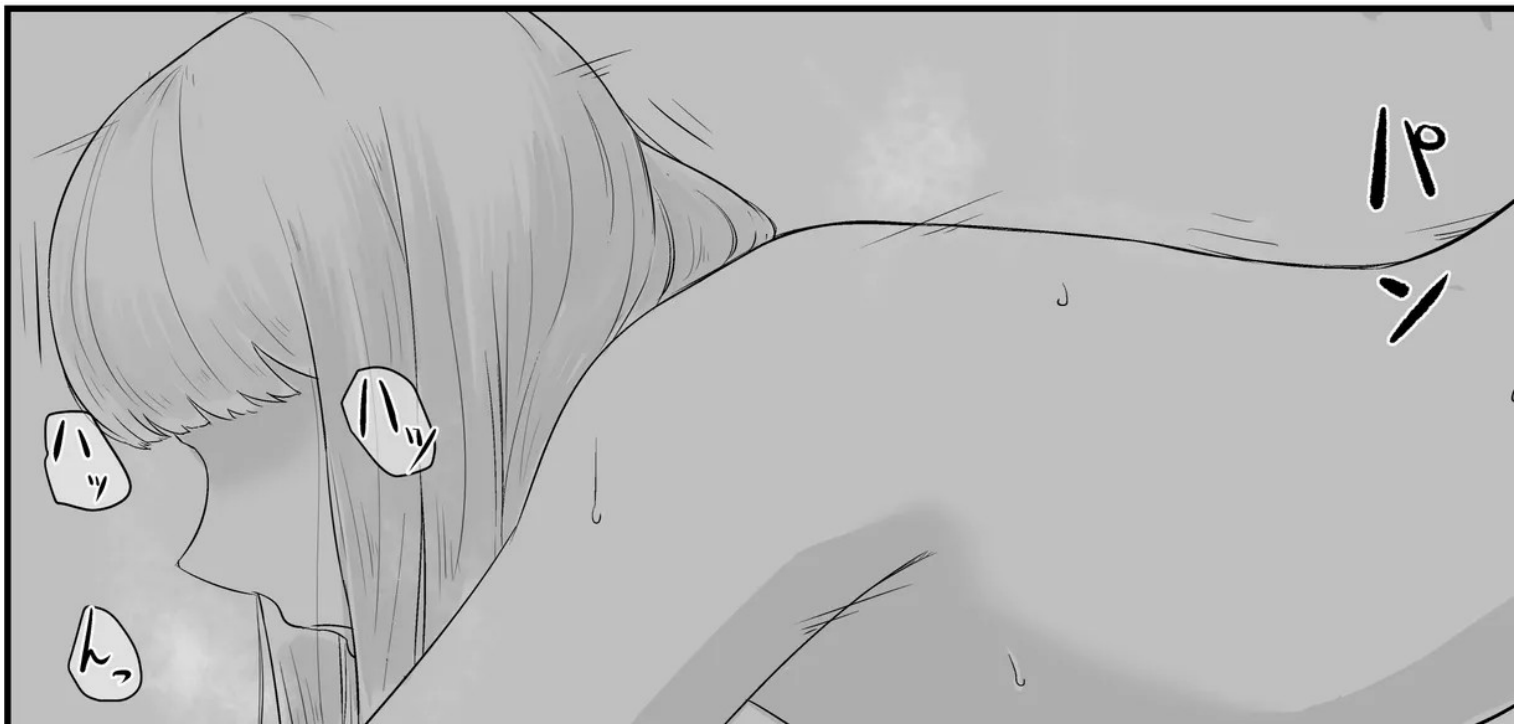
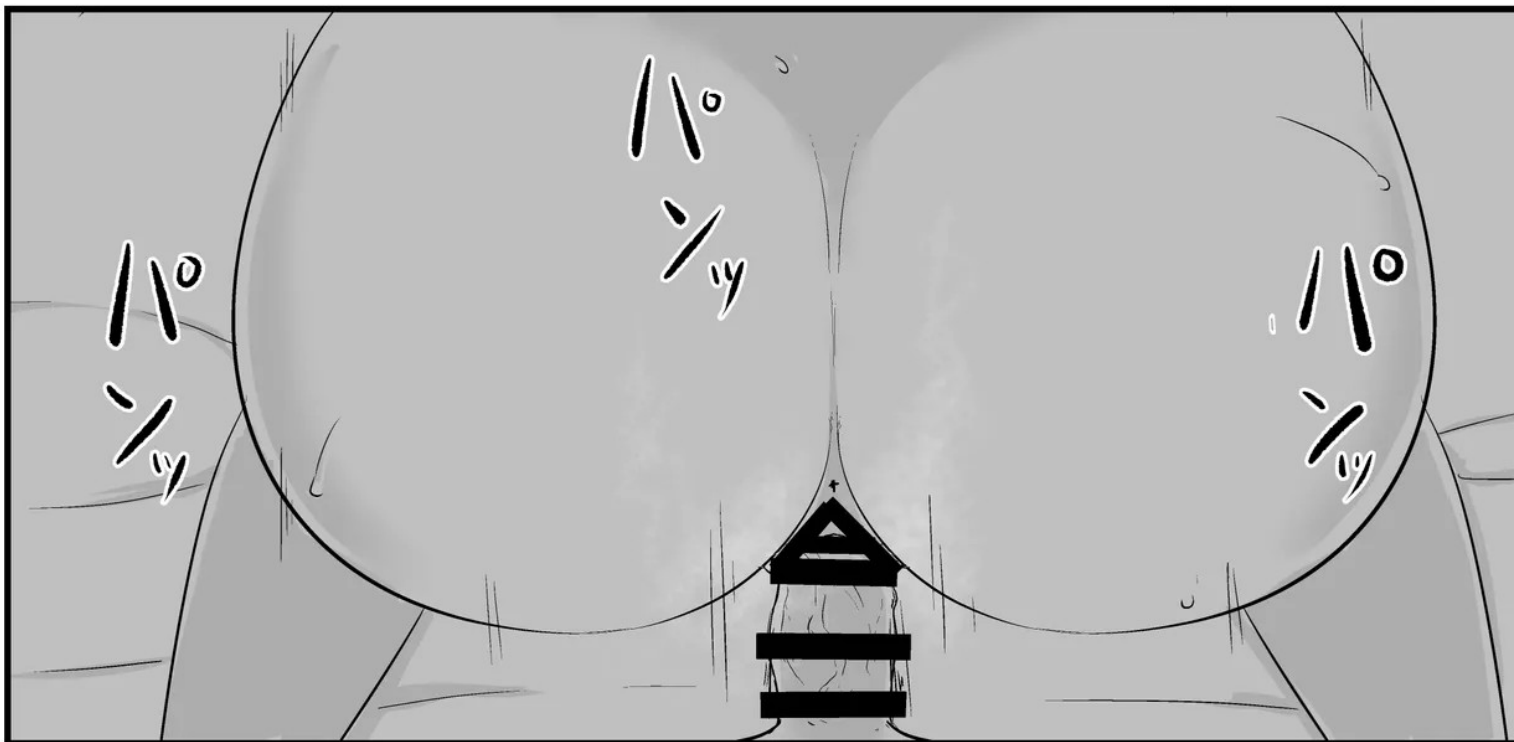
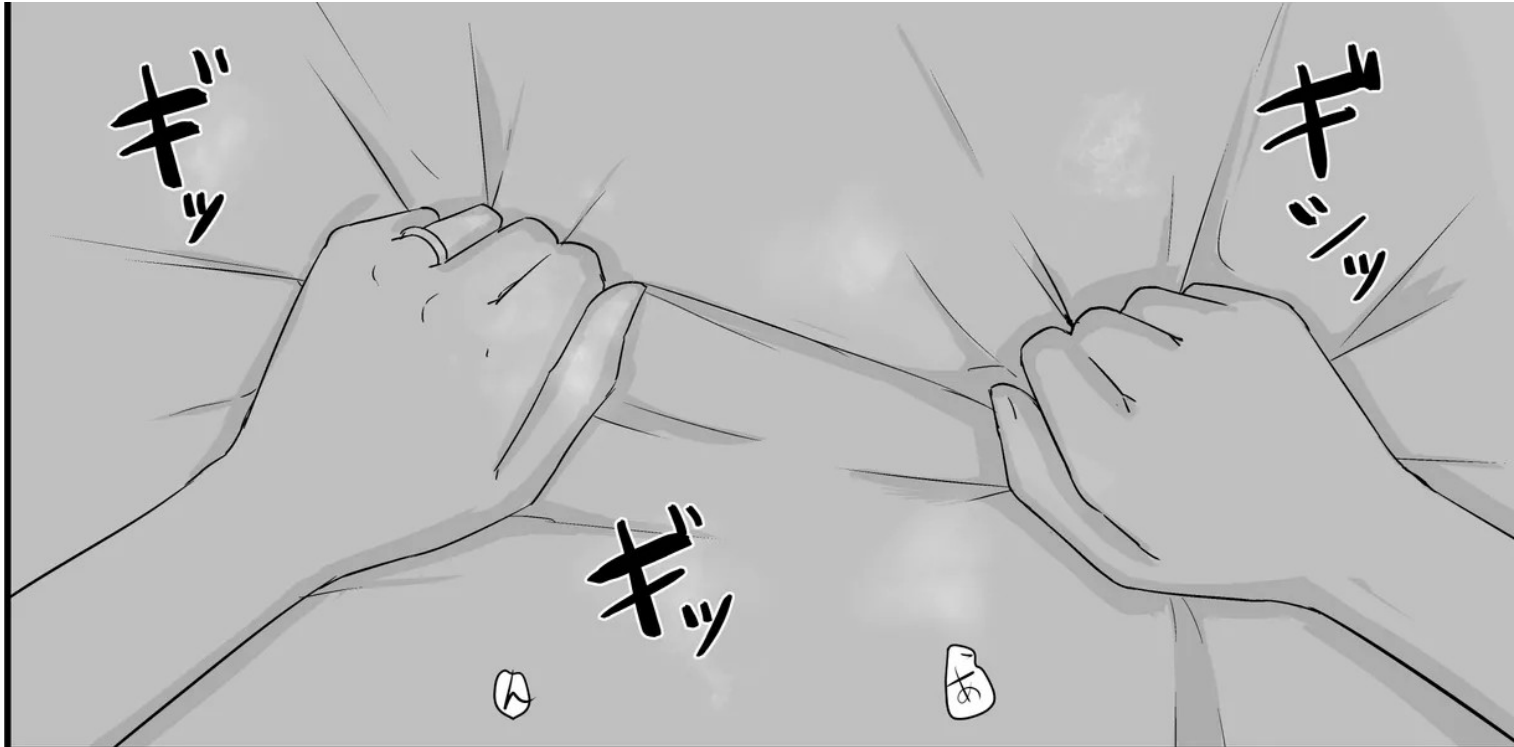


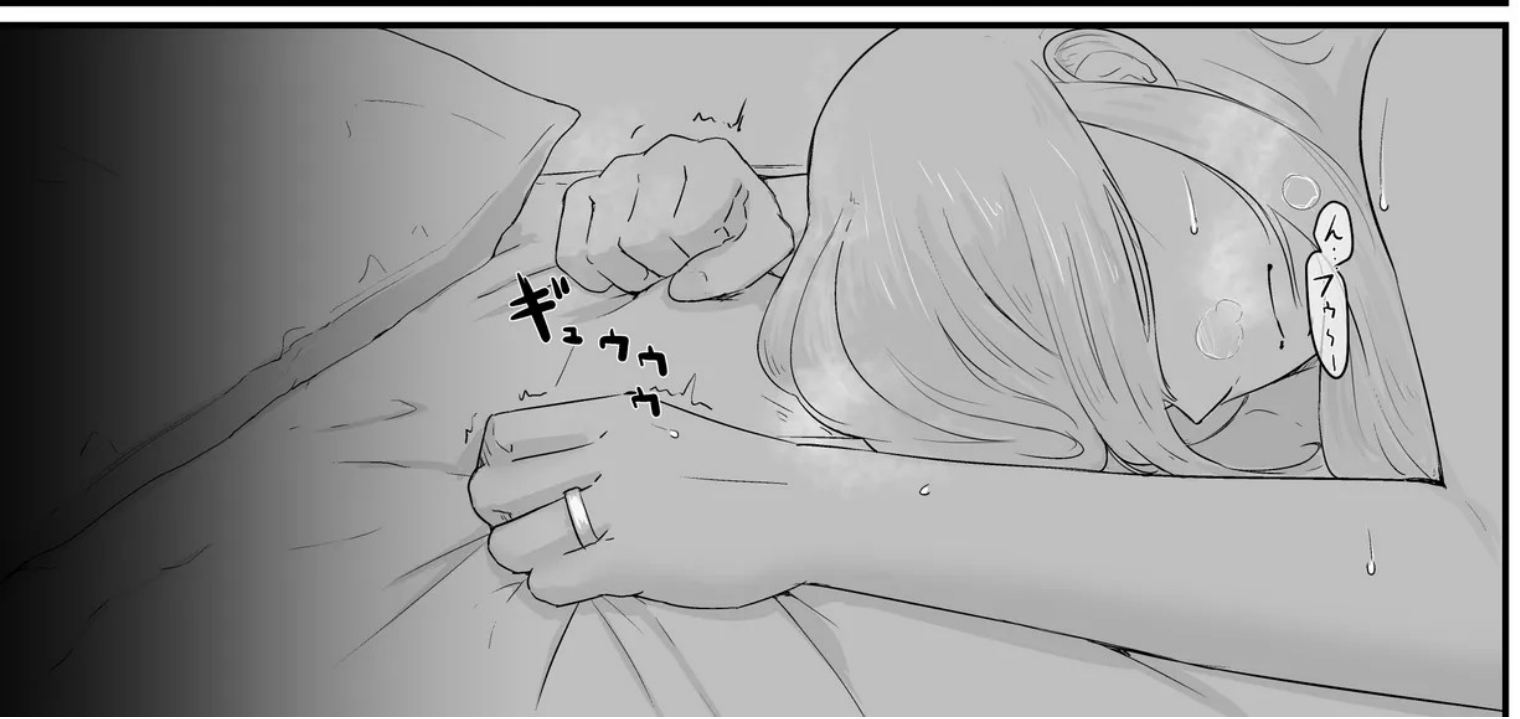
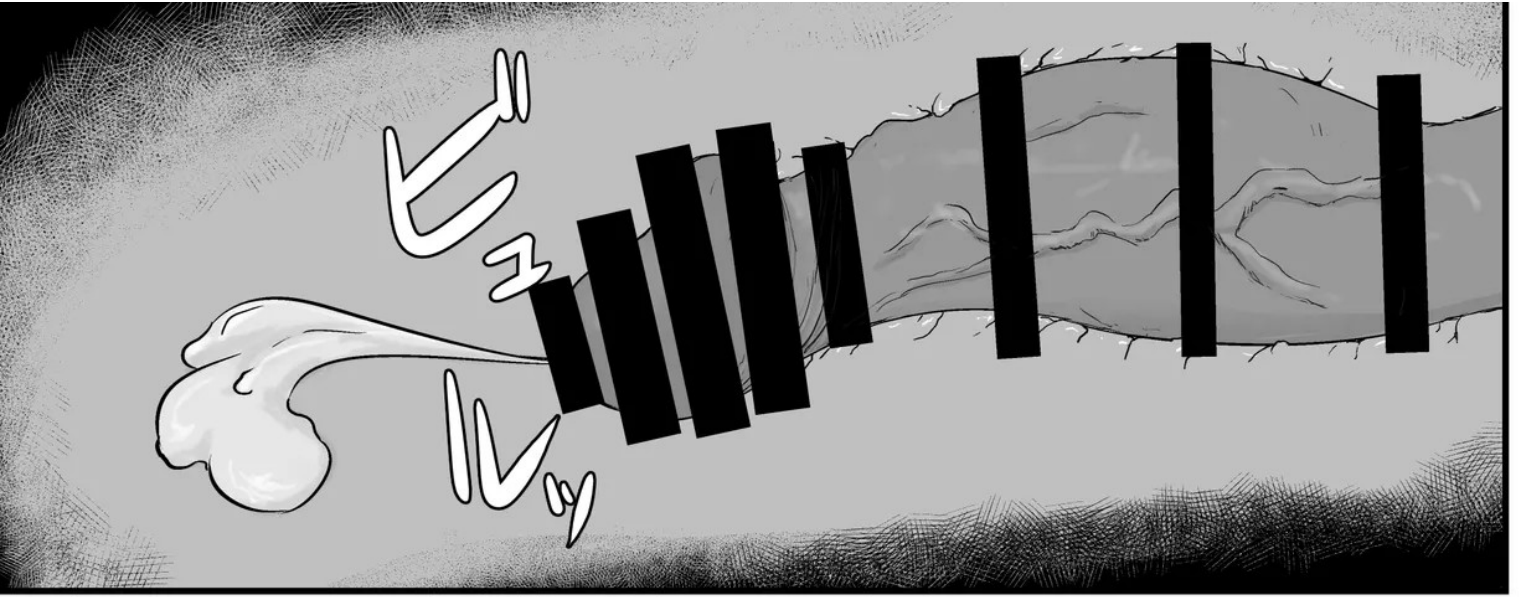
ギッ

ギ
シッ

ギ
ン







一か月前

カウダ地方
辺境のとある寒村



駄目だ…

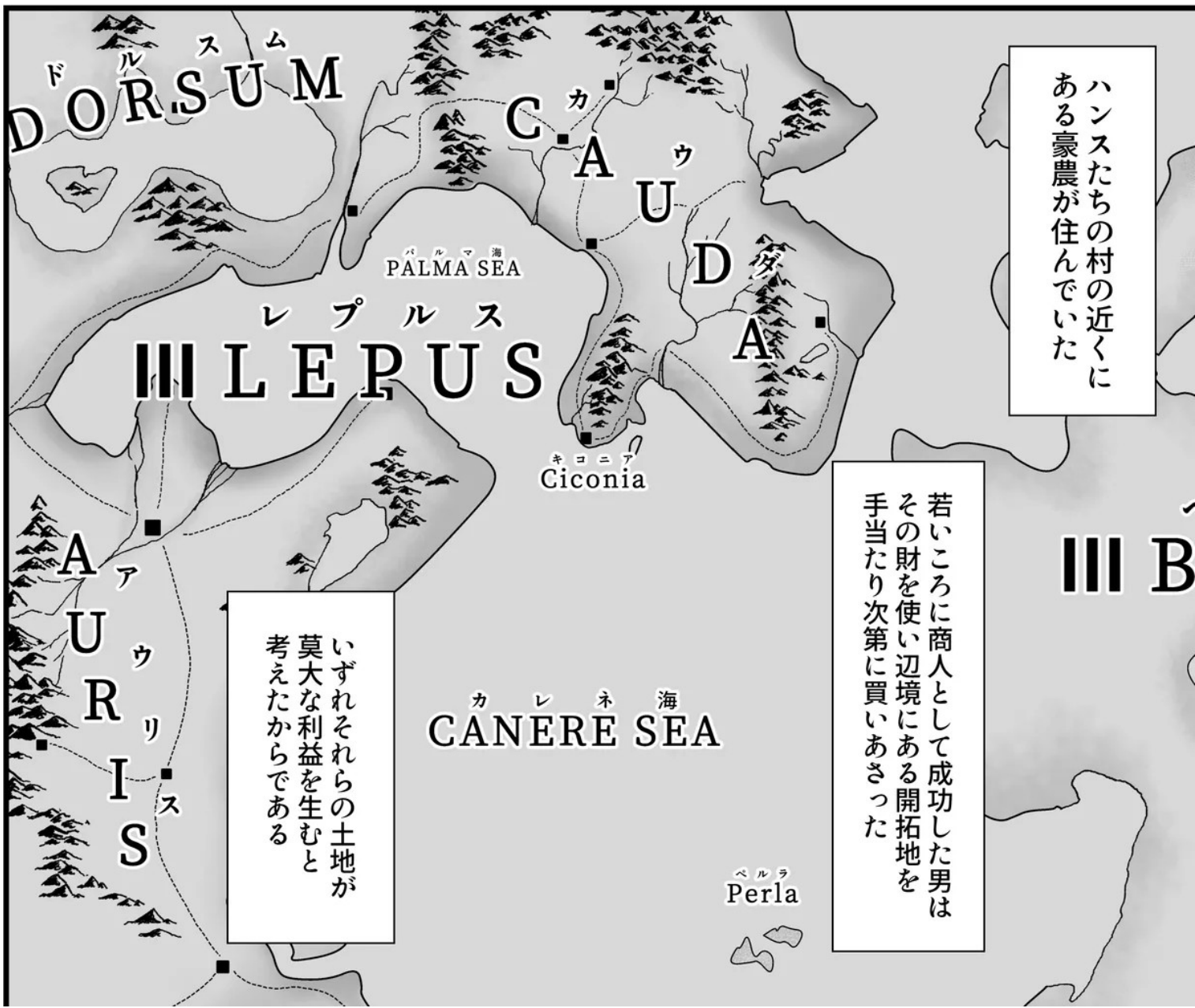
みんなと相談したが
やっぱり食料が
足りなくなるそうだ

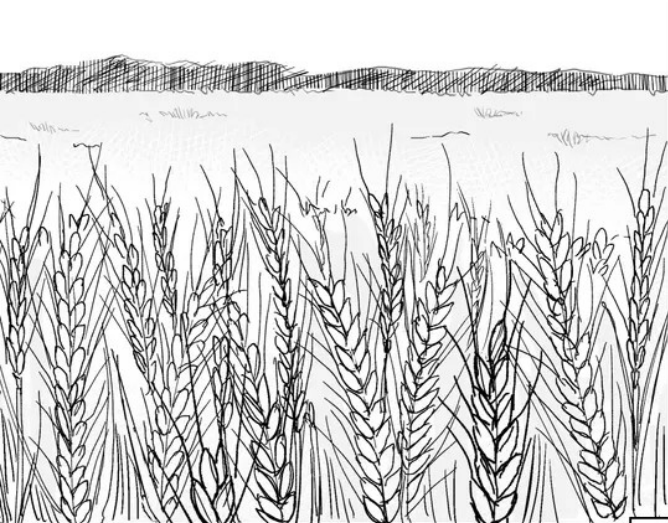
そうですか…

やはりあの老人に
頼むしかないようですね

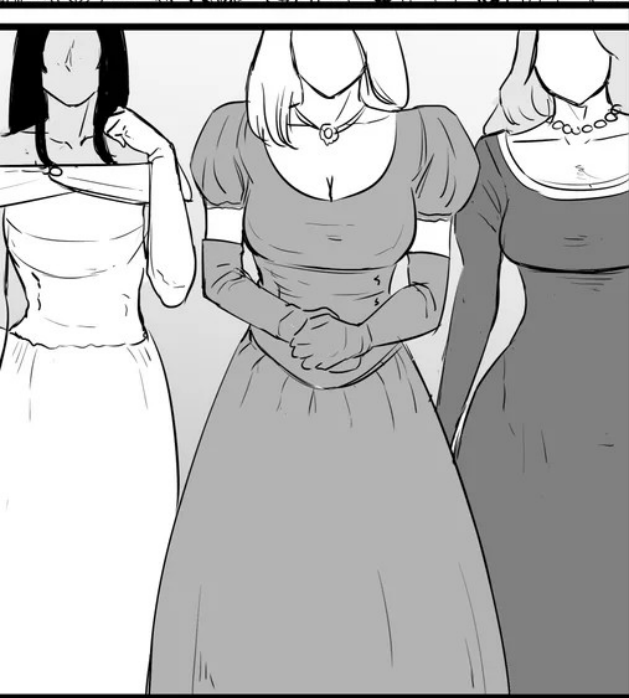
ヘレナ
でもそれは…







男が手に入れた土地の
鉱山からは金が取れ
広大な農地の産物は人々の
胃を満たし



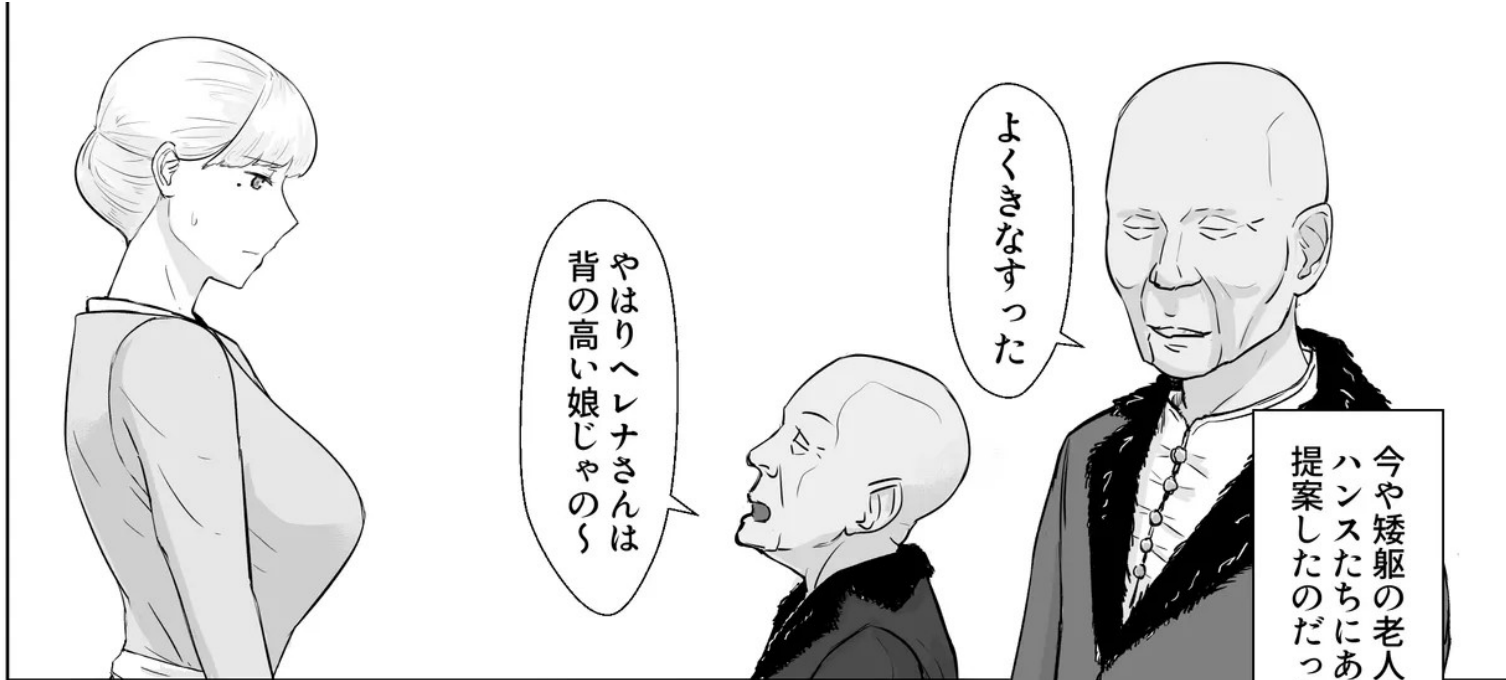
男は何人も妻をめとり
その子供たちは官界と民間の
有力者として根を張った



男の名はラジャル



半世紀のち
カウダ地方で
逆らえるものは
いなくなっていた



今や矮躯の老人となった男は
ハンスたちにある取引を
提案したのだった

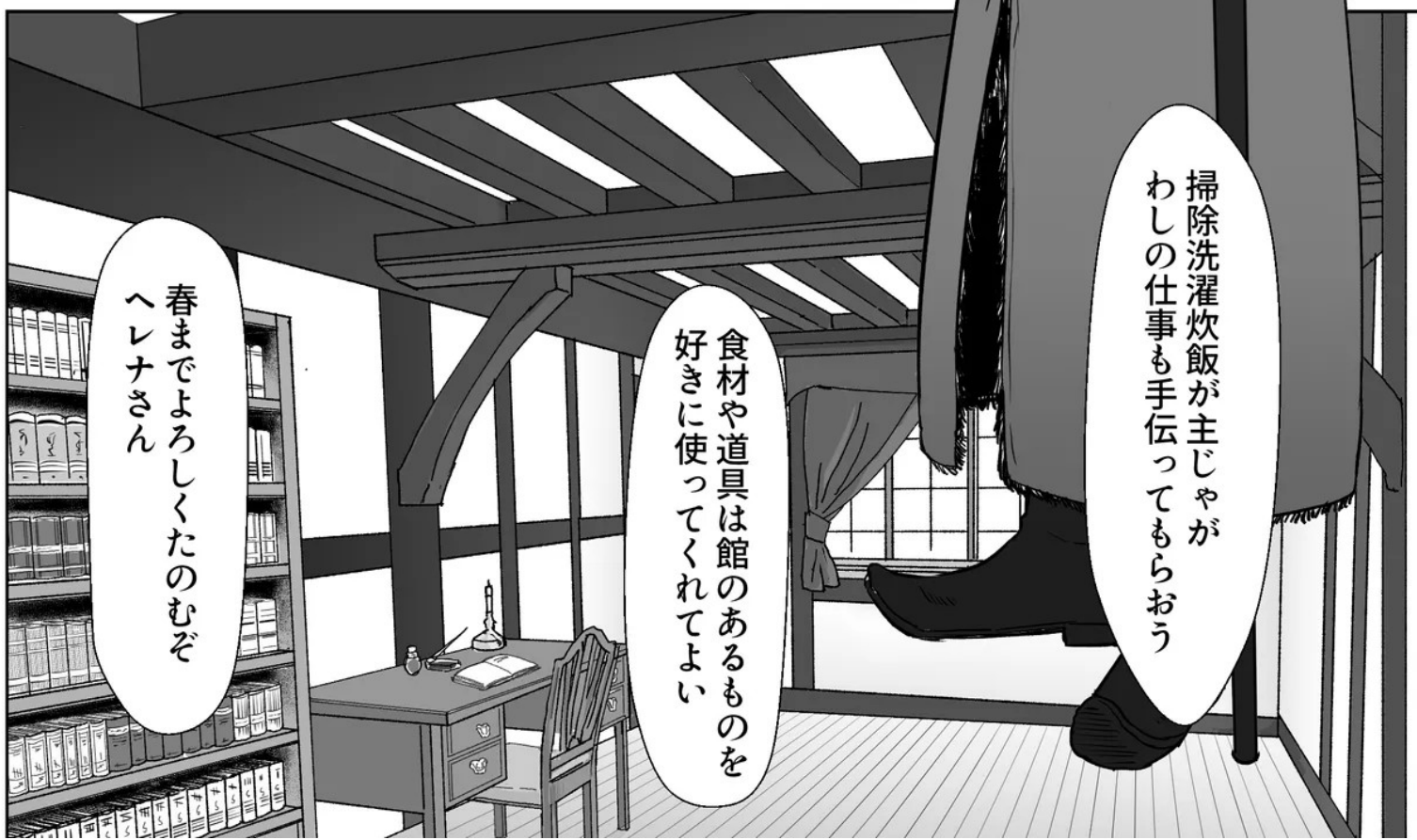
よくきなすった

やはりヘレナさんは
背の高い娘じゃのう



ほかの家人たちは
本館のほうに移動させた

この離れで過ごすのは
わしらだけじゃ



掃除洗濯炊飯が主じゃが
わしの仕事も手伝ってもらおう

食材や道具は館のあるものを
好きに使ってくれてよい

春までよろしくたのむぞ
ヘレナさん



老人の領地から
村に食料を提供する

見見たことのない
食材が多い……

何かしら これ……

それと引き換えに……



私が冬の間老人の
身の回りの世話をする

後々のことを考えれば
老人の機嫌を損ねる
ことはできない



それが取引の条件



事実上の絶対服従



普通 主人と召使の
食事は別のはずだけど



…どういふつもりなのか



一人で食べるのは
味気ないのでな
つきあってくれ

あのやっぱり
私はあとから



…きた



…ご一緒いたします



夜は一段と冷え込むからの
添い寝してもらえるかね

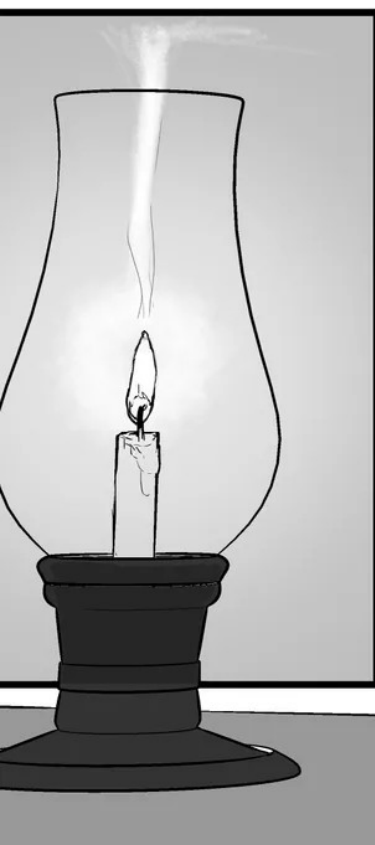
ピク



結局ただ
眠るだけ…



すぐに手を出してくると
思っただけ…



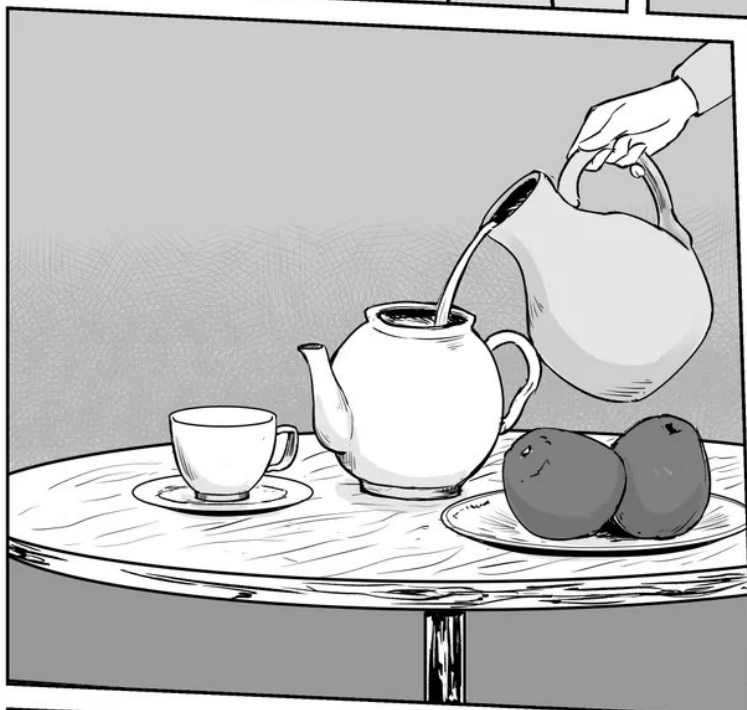
何かしらこの匂い？

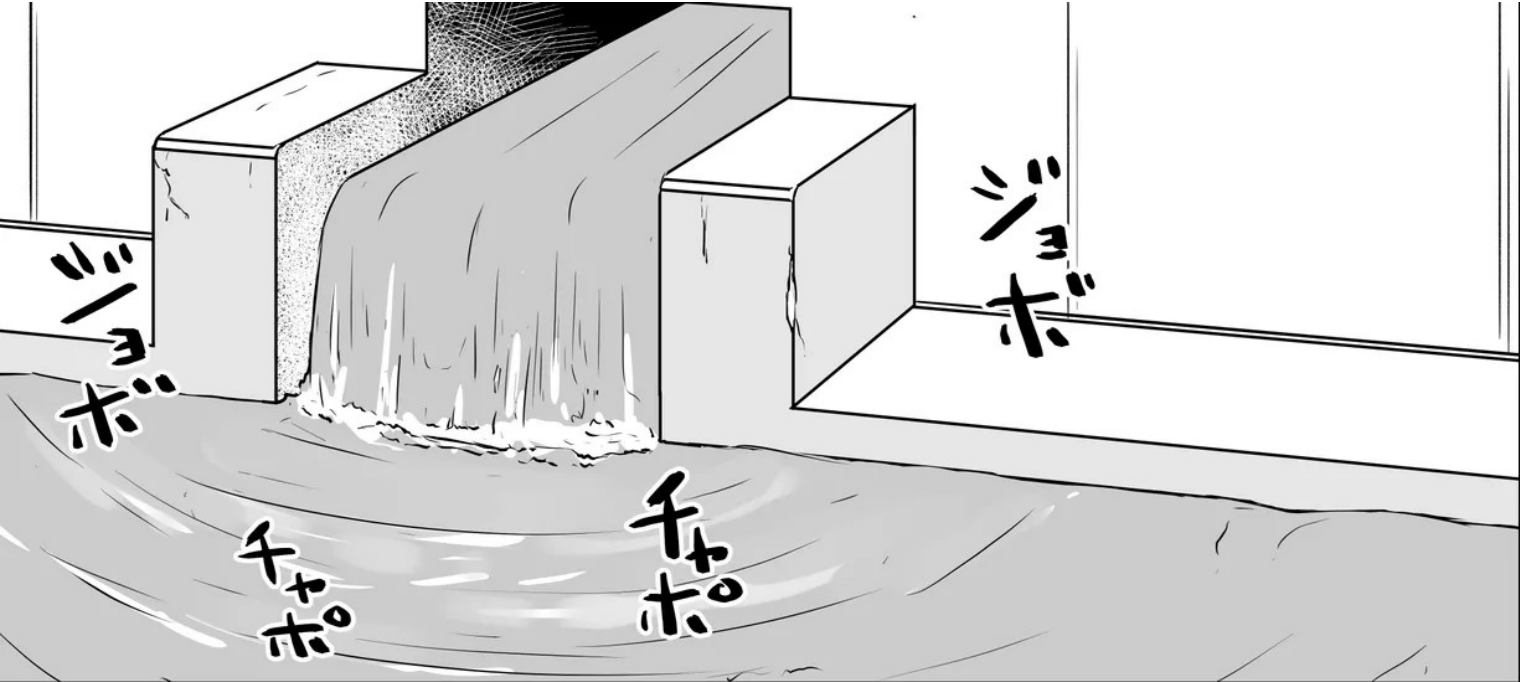


私には都合がいいけれど
どういうつもりなのか

……？

当初の予想に反しその後も
侍女として雑務をこなす日々が
何事もなく過ぎていった





ここにきて
一番驚いたのは
この湯舟ですね



お風呂です...

ふう

はあ



何の準備もなく
熱い湯を使えるとは

暖かい水

温泉というらしいけど
この離れにまで
引き込んでるとは

なにより…

いまだに行為に
及んでいない

この生活は…
正直充実している

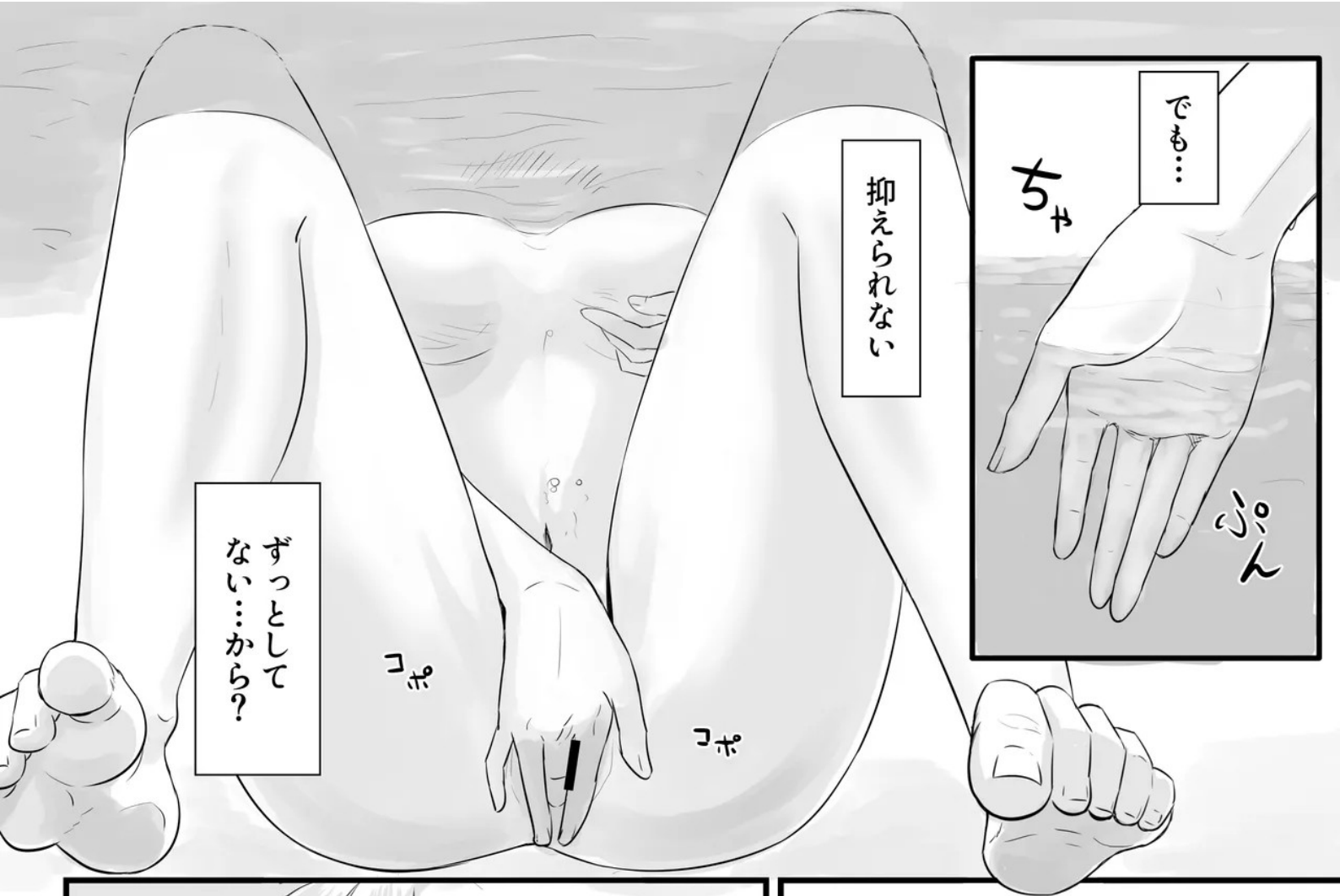
毎日十分な食事がとれるし
家事もたいしたことはない

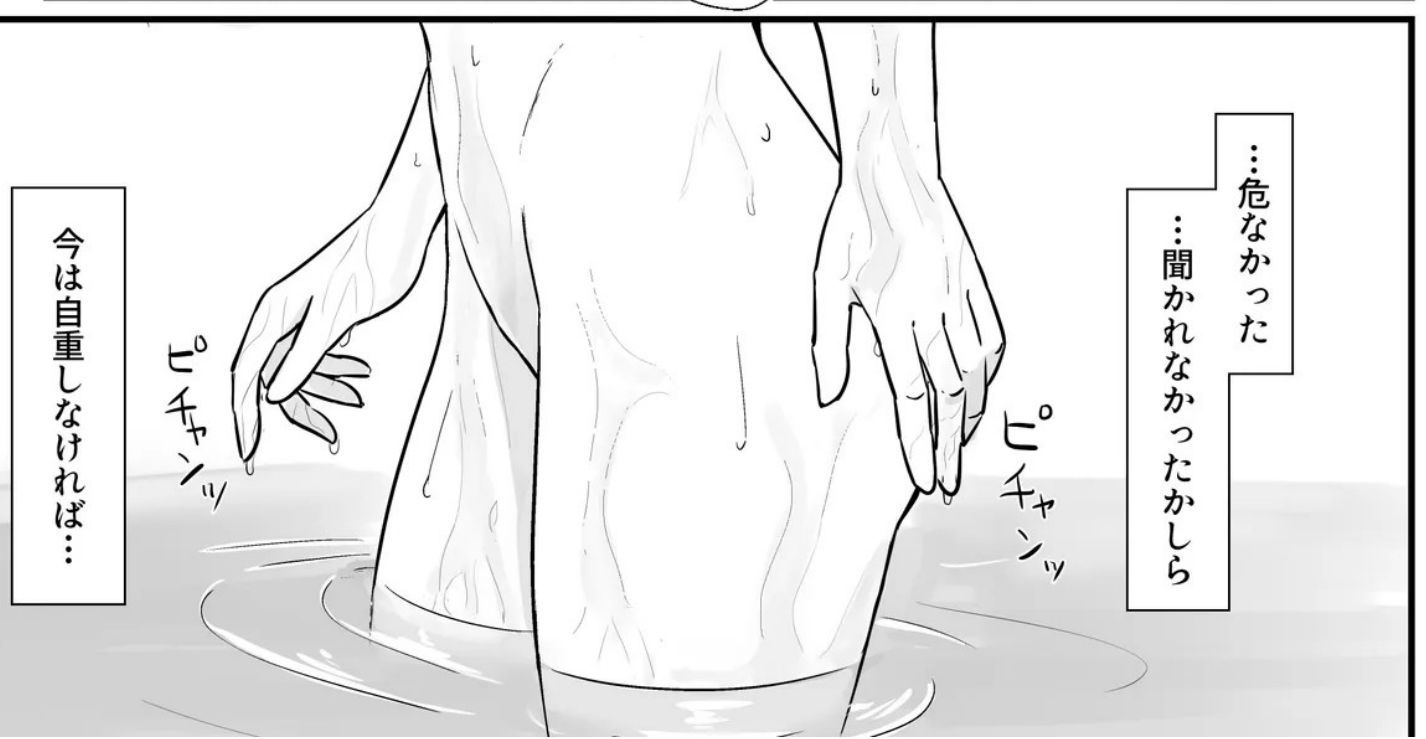
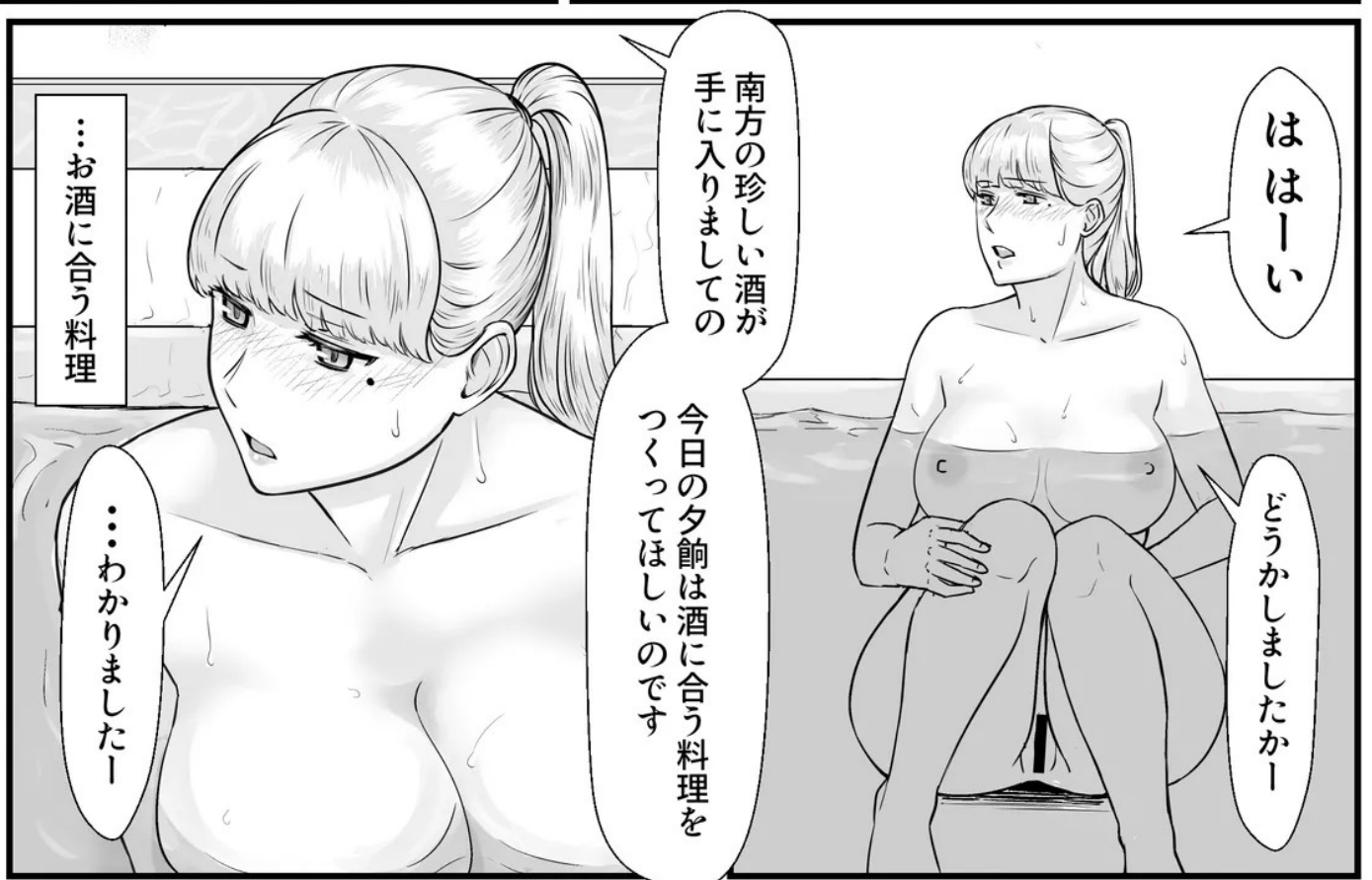
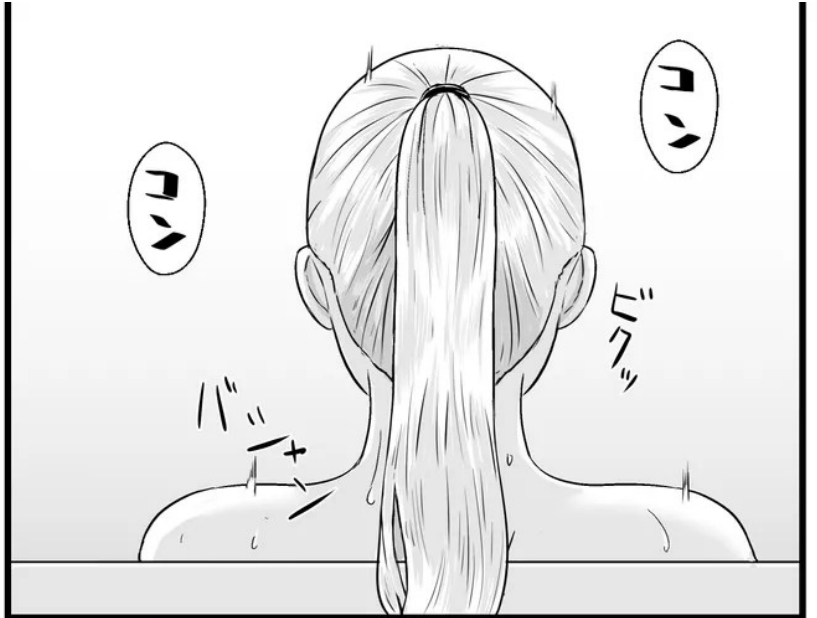
手の空いた時間は
蔵書を読むことも
許可された

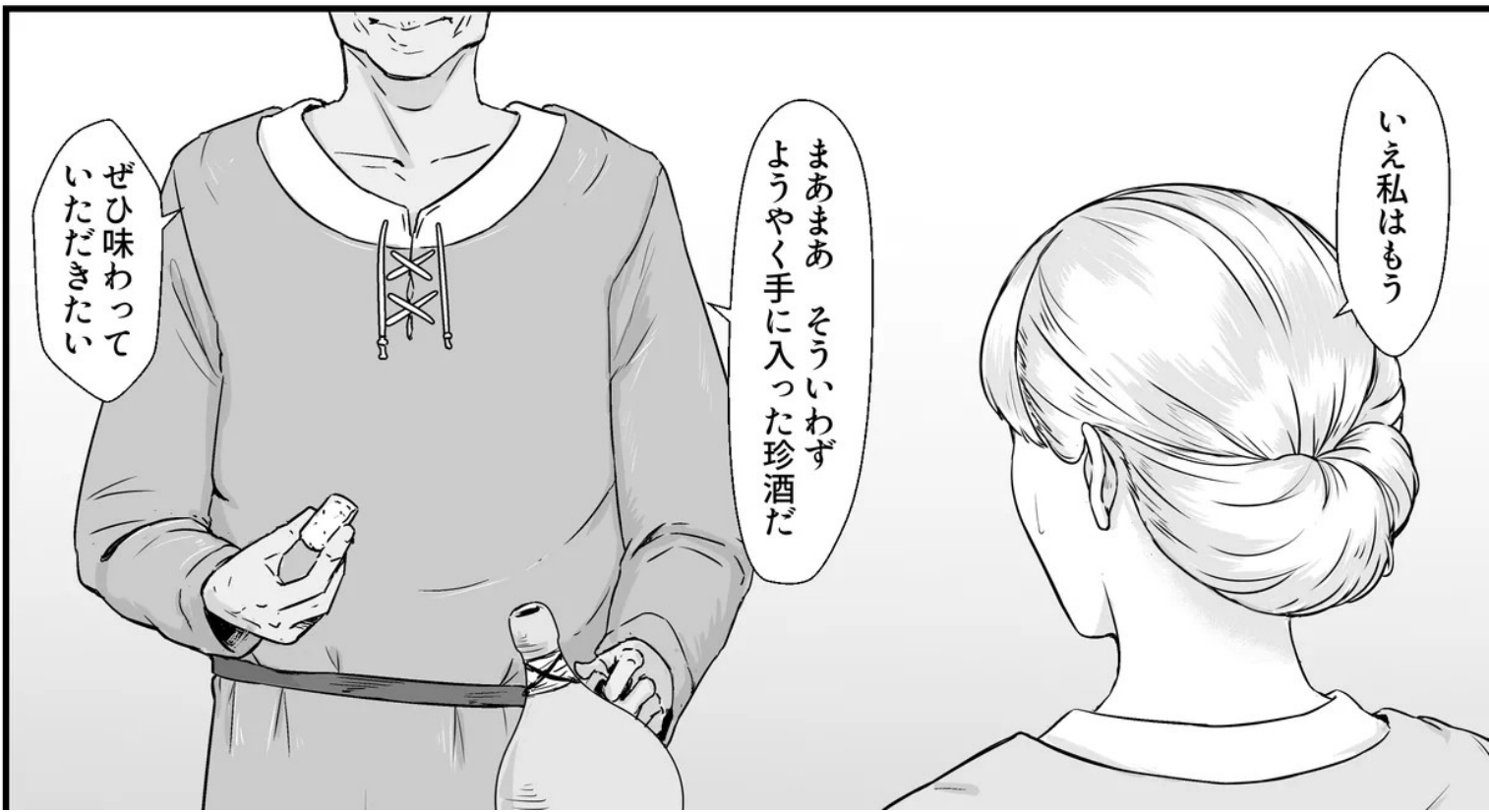
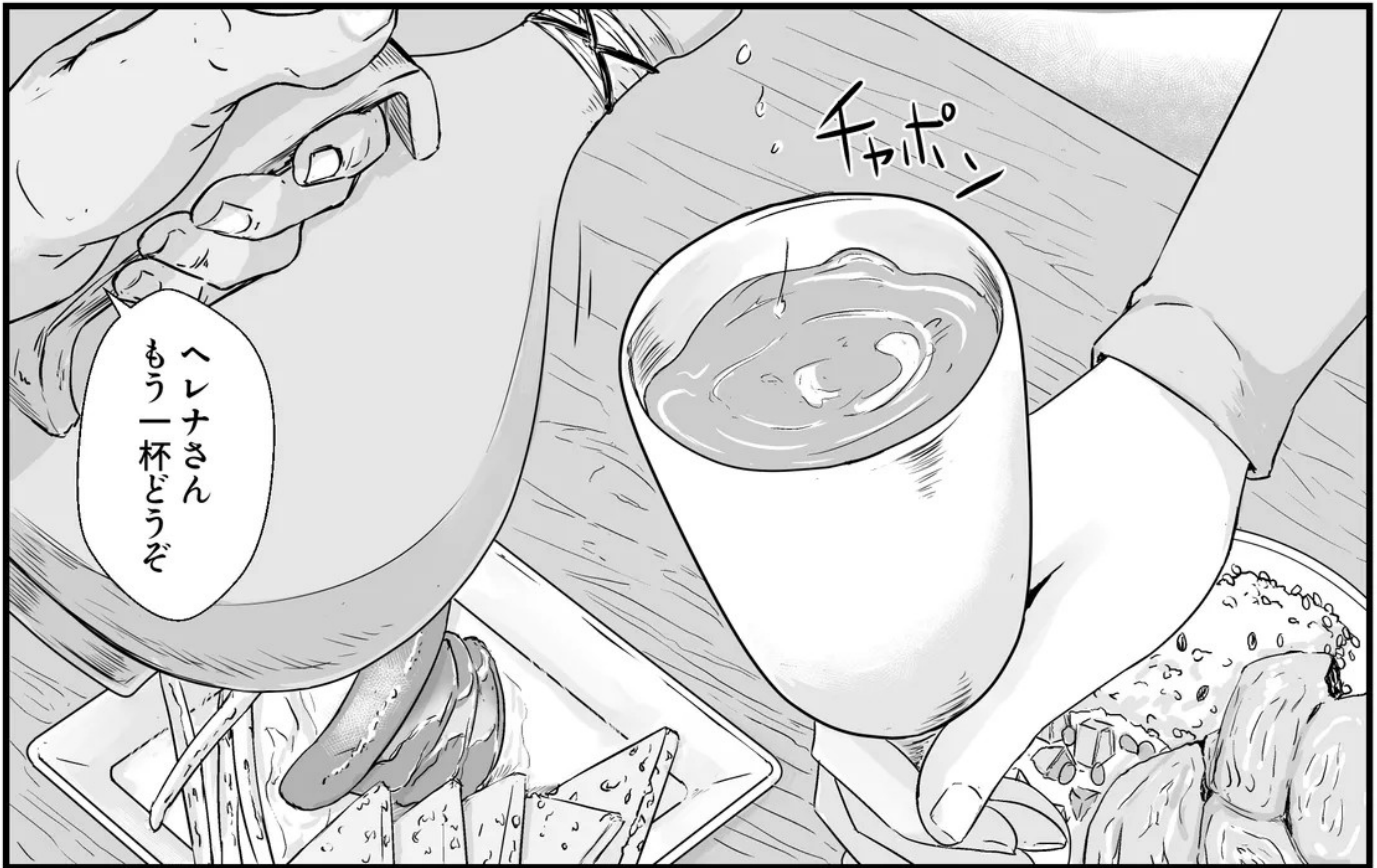
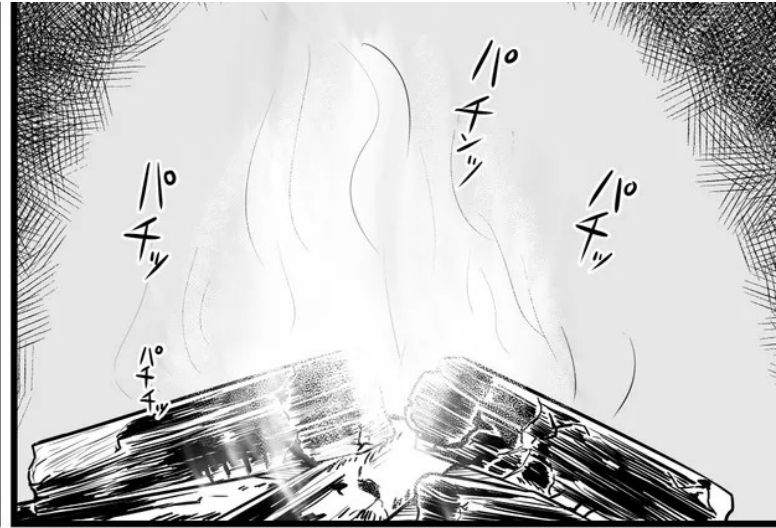
あの男はかなりの高齢…
もうできなくなっている
可能性もありますが

それでは
取引の意図がない









大分飲んでしまった…
でも立場上断り切れない

このお酒はおいしいけど
匂いがきついですね

…?

…この匂い
どこかで…

…この酒は
南方のとある国の
新婚の男女が

そう…だ
あの商人の
…もってた

ある強い
効能があつて

同じ匂いが…

割れた瓶から

この館の蜜蝋も
この酒を混ぜて

……?

なんだか
眠く…

…寝室に

……

…聞こえて…

ピチャ

ピチャ

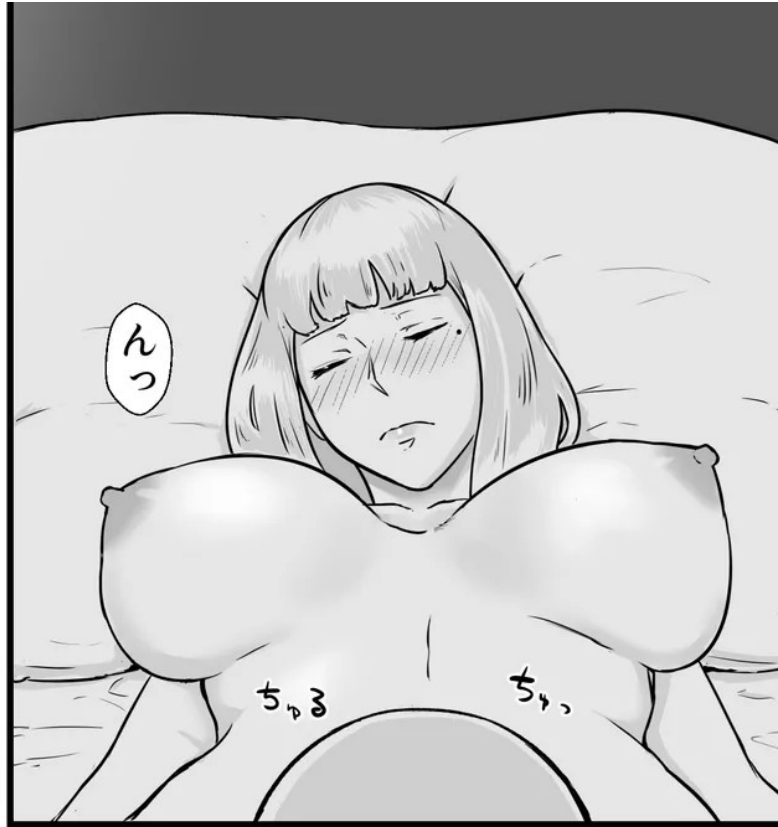
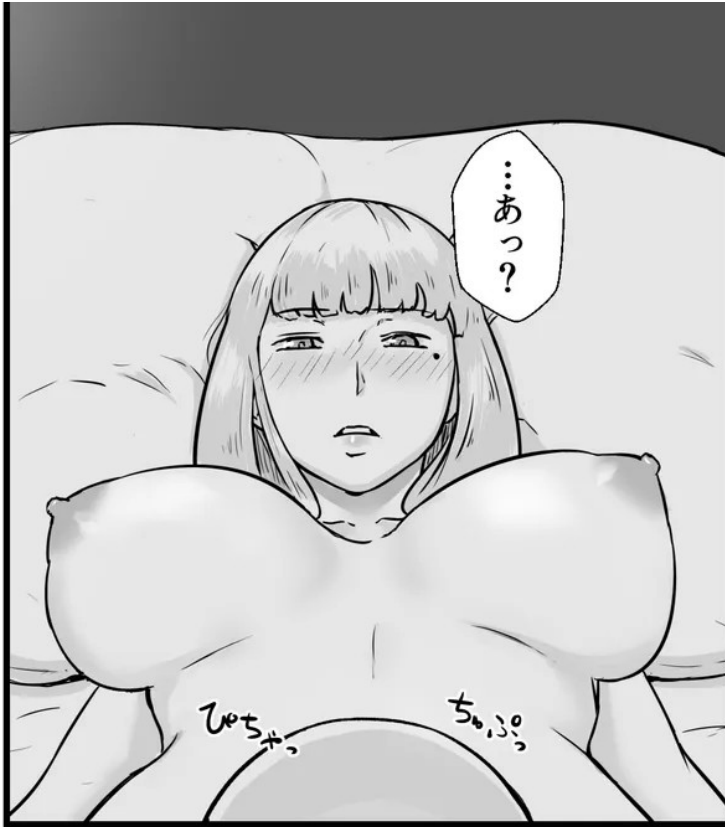
チャッ

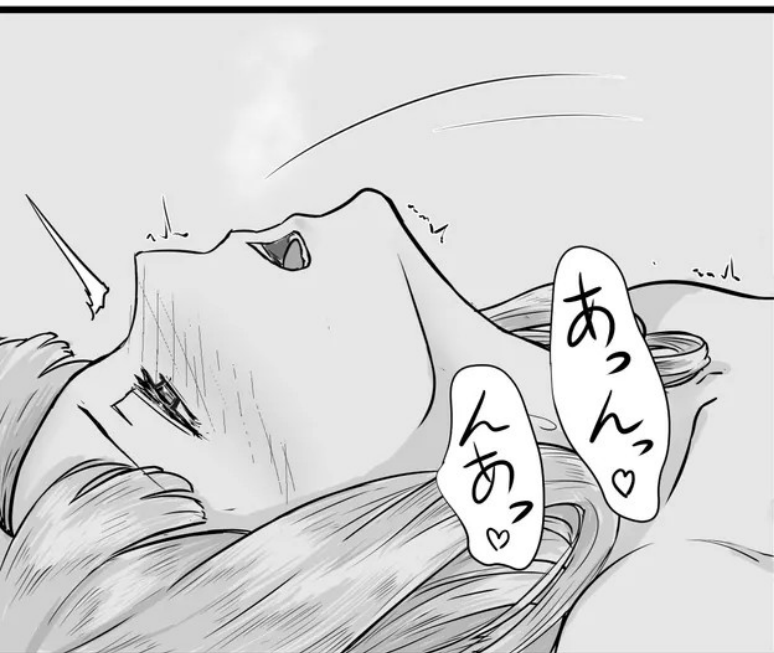
ピチャ

ペチャ

チャッ

ジュルッ







体がおかしい…

力がうまく
入らないだけ
じゃない…



肌を舌が
這いまわる
感覚が…

はつきりと
伝わってくる



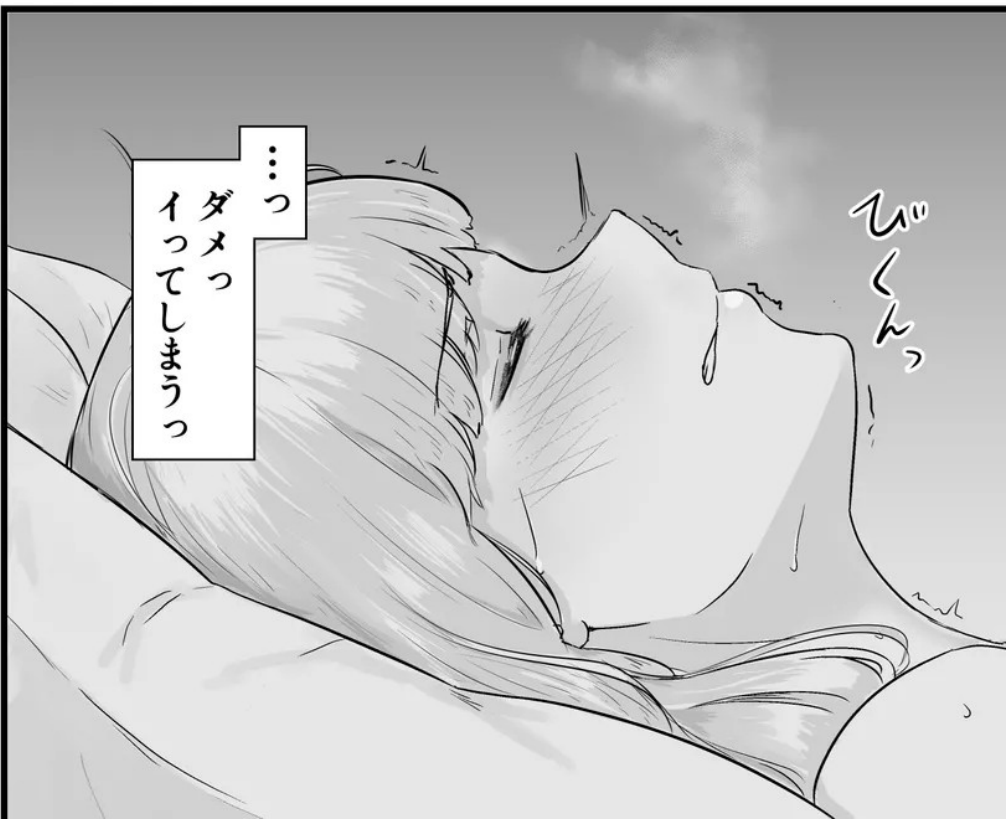
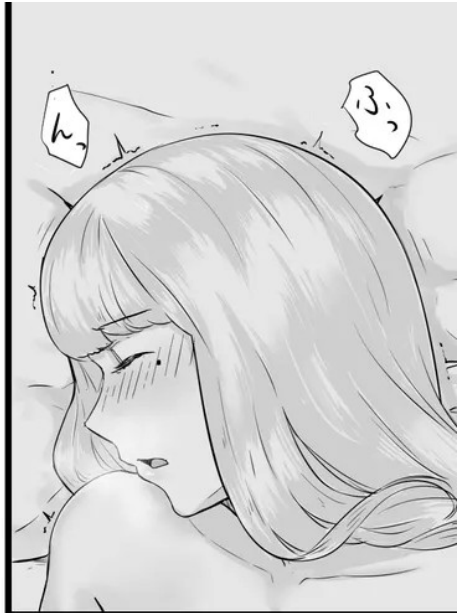


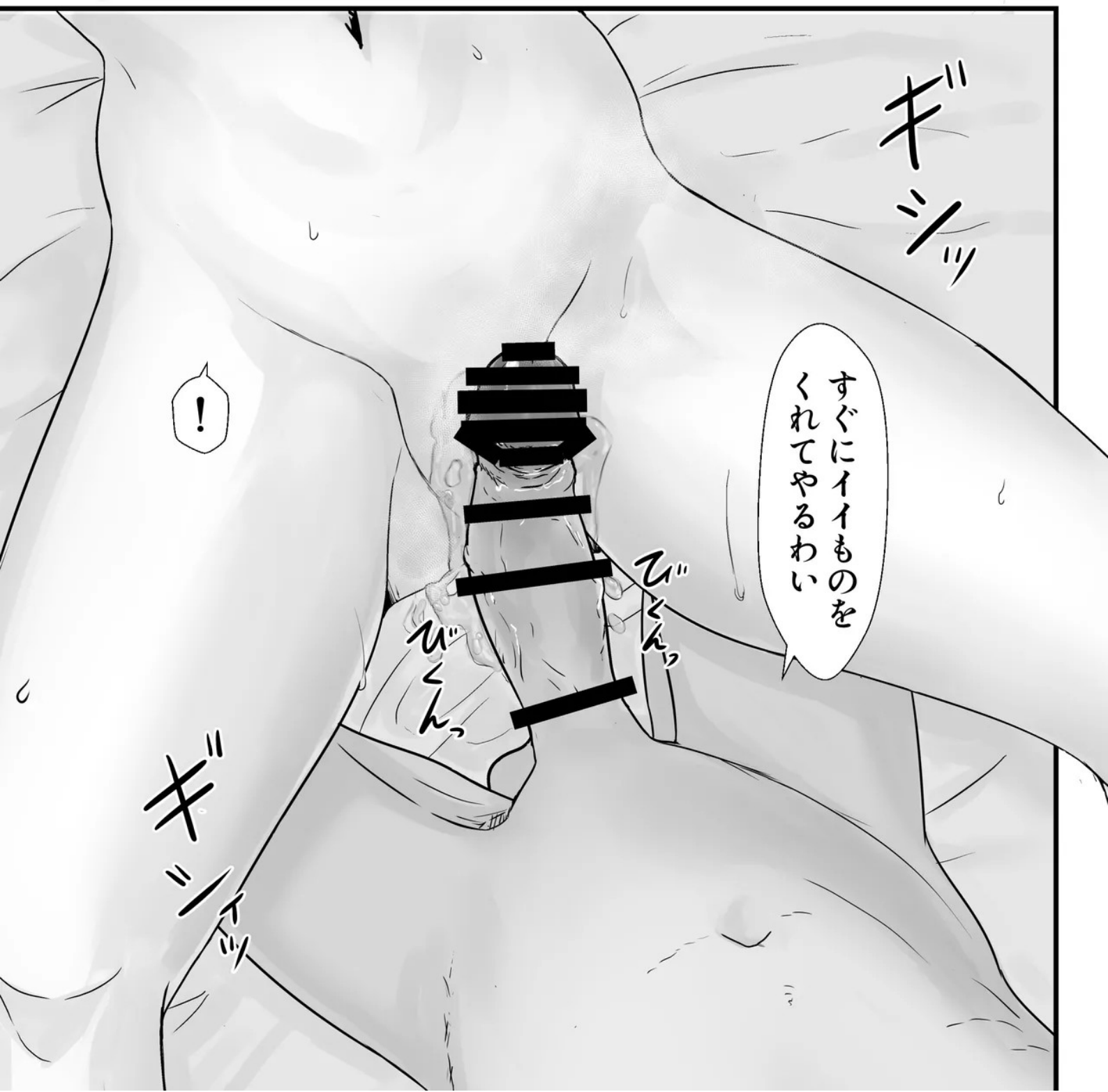
この老人の愛撫に

感じてしまっ
て
いることが
信じられない…

頭は嫌悪感で
いっぱいのはず
…なのに

どうしてこんなっ





…大丈夫

こんな形で…
することになるとは
思っていなかったけど

ここに来た時から
覚悟はしていた…

なんて大きさ…

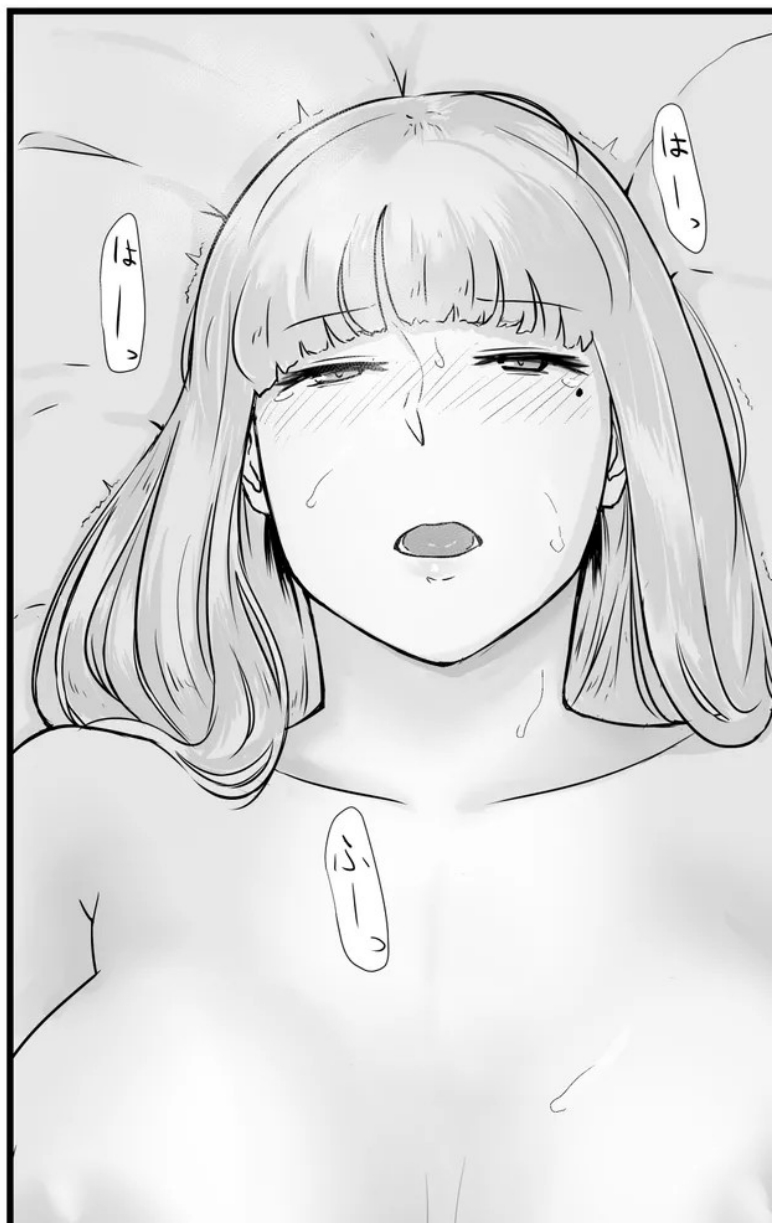
形も…
夫のものとは
まるで違う

…っ

…落ち着かないと

こんな卑劣な男
相手にこれ以上乱れる
わけにはいかな











まっ

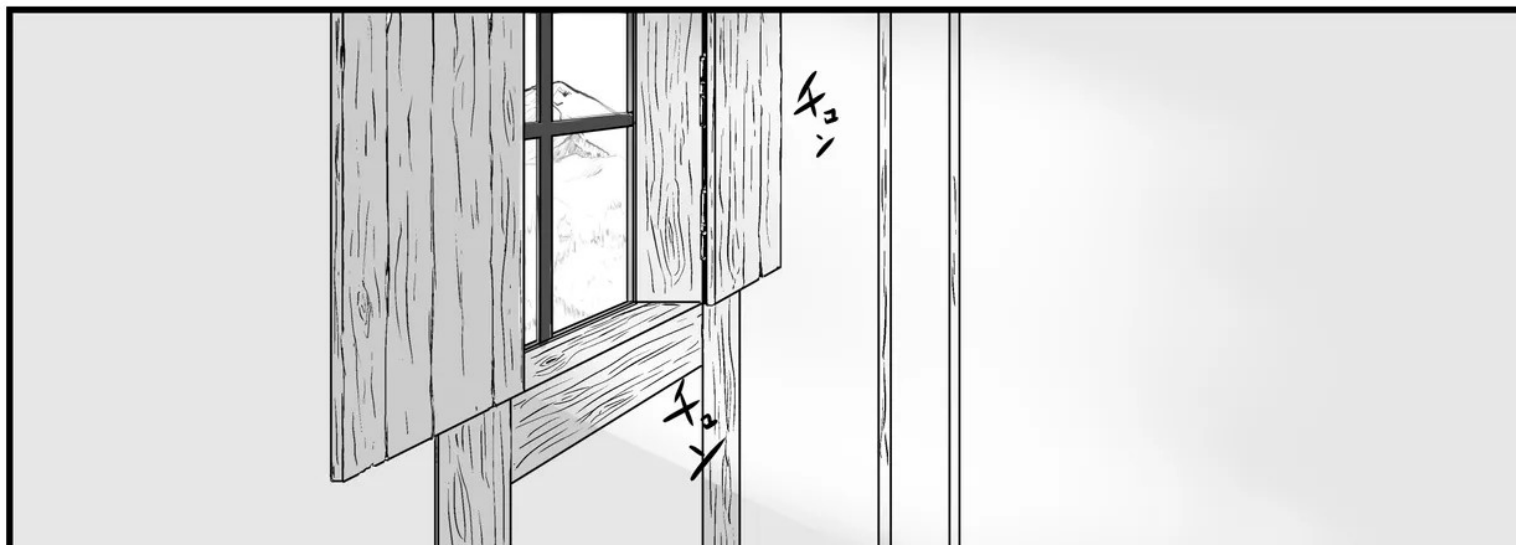
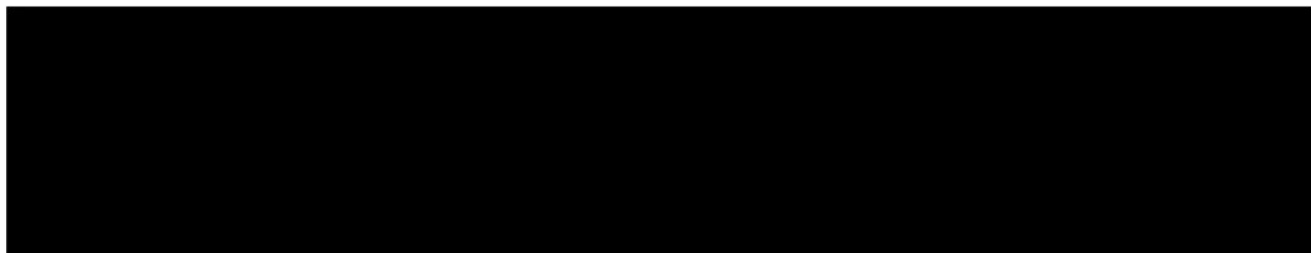
え？

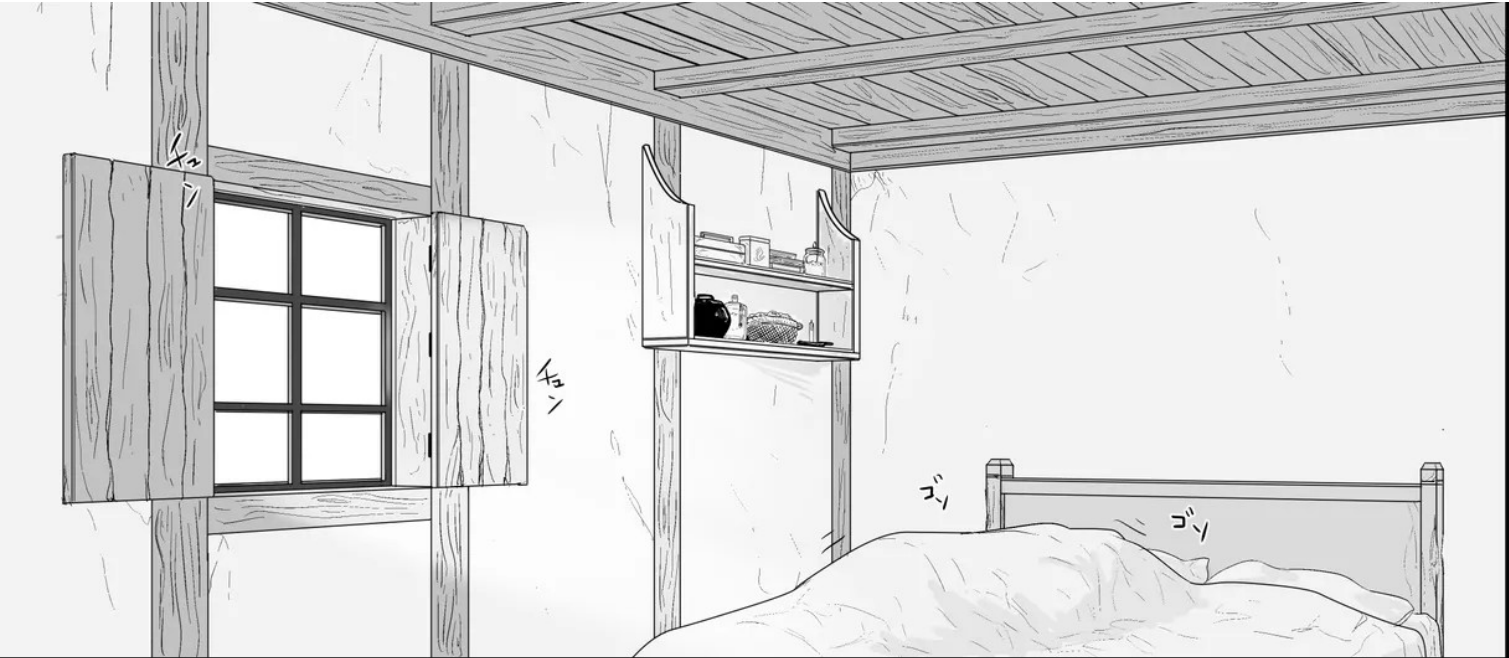
膾^な…内^か？

INDI









朝起きた時に
隣に誰もいない
状況には

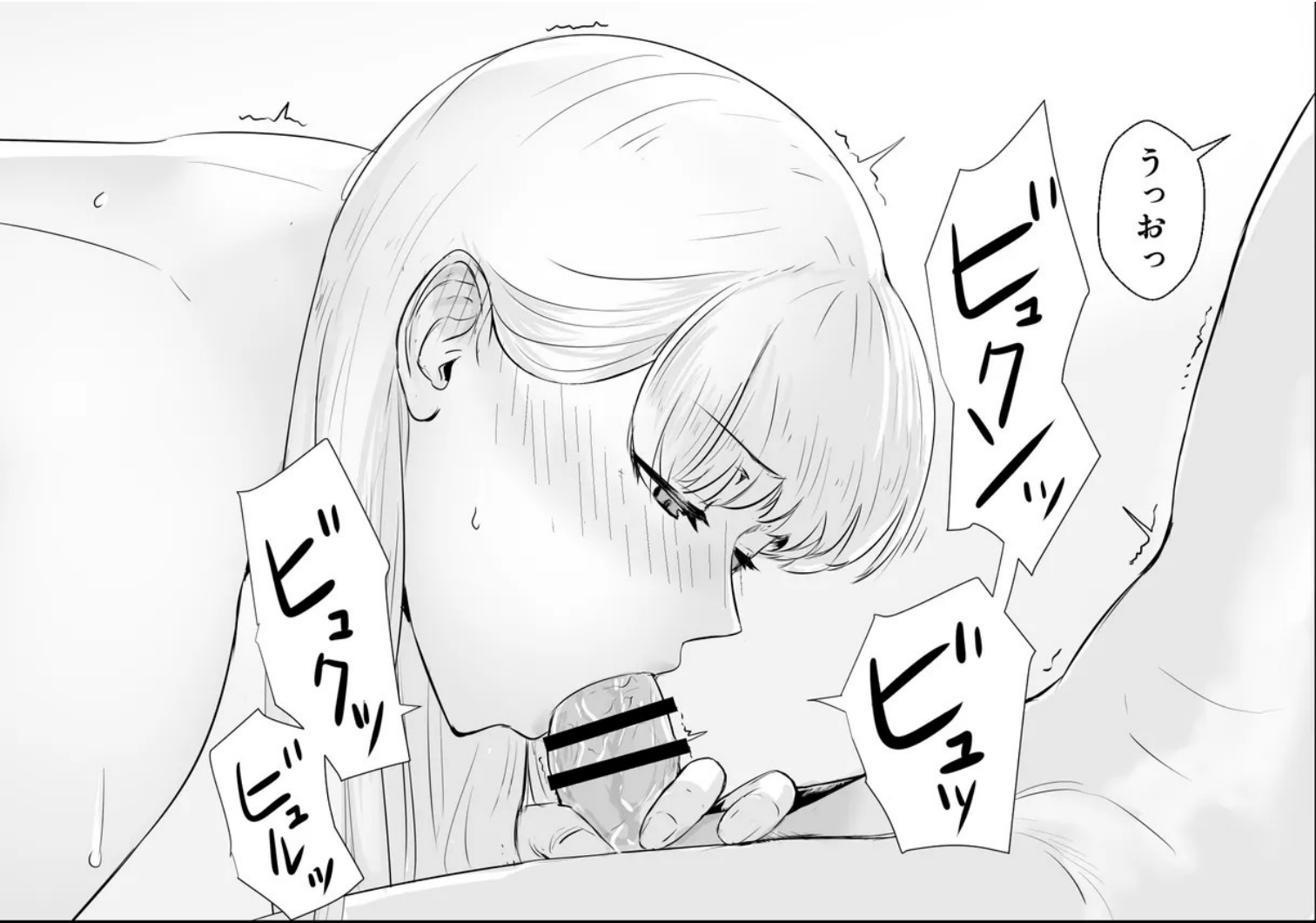


いつまでたっても
慣れないな



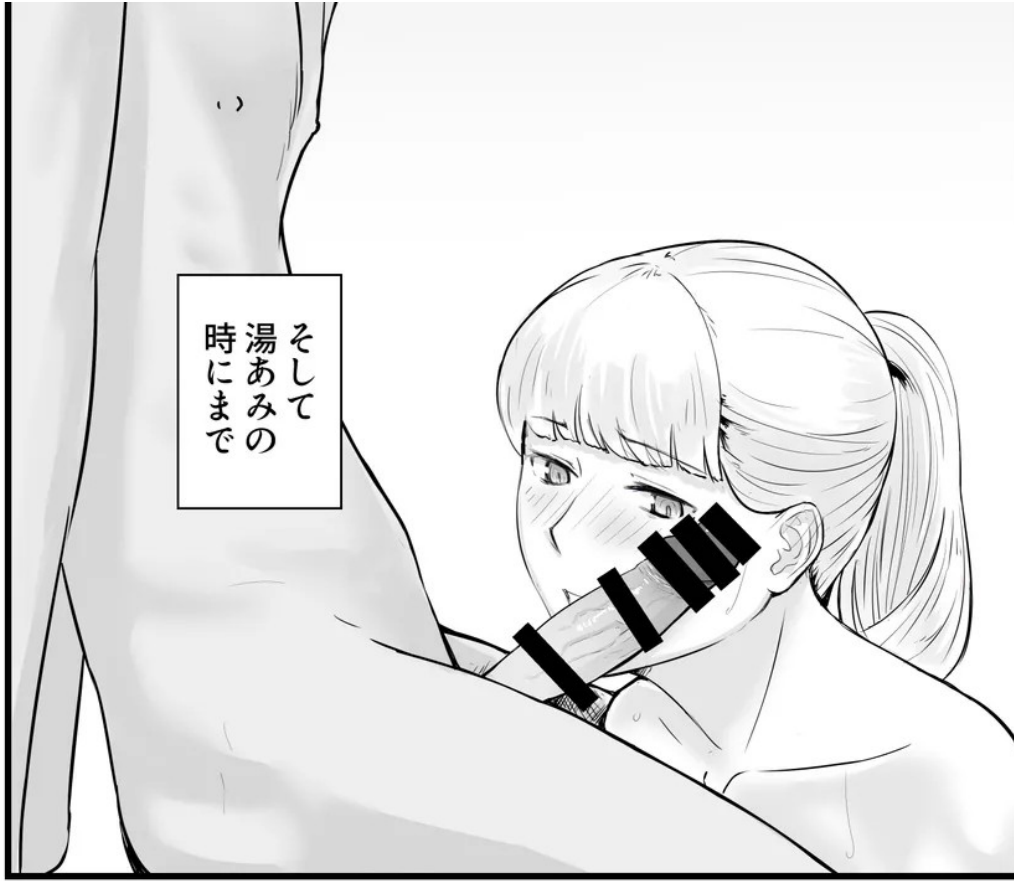
…ヘレナさん

今頃どうしてるんだろう

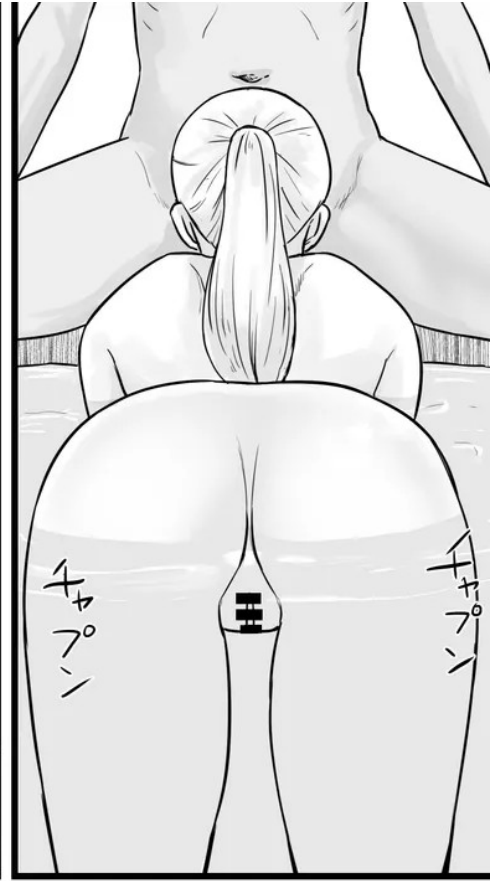








そして
湯あみの
時にまで



チャポン

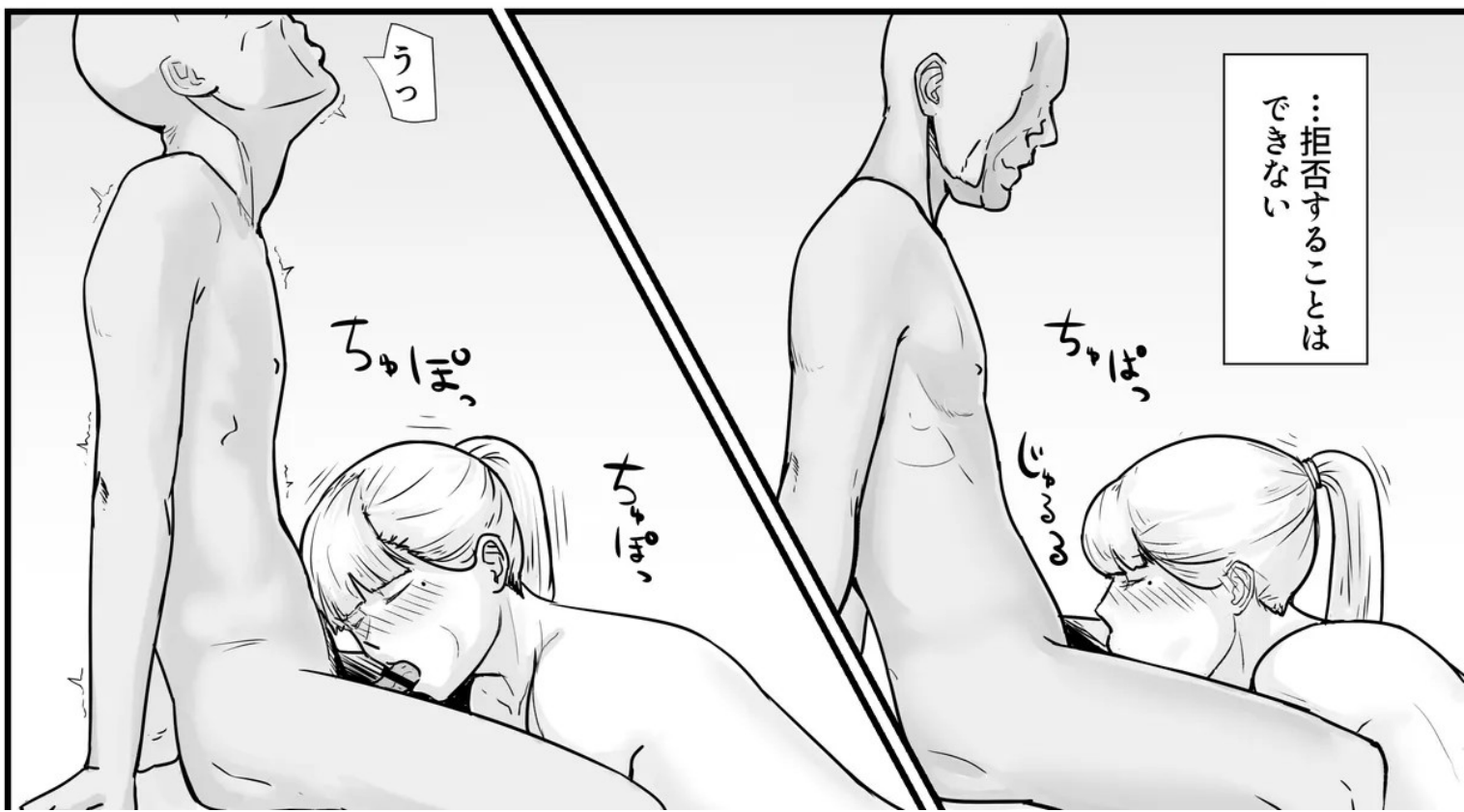
チャポン



…驚くべきは
老人の異常な
性欲だろう

一日のうちに
何度もいやらしい
行為を迫ってくる

れろ



…拒否することは
できない

チャポン

チャポン

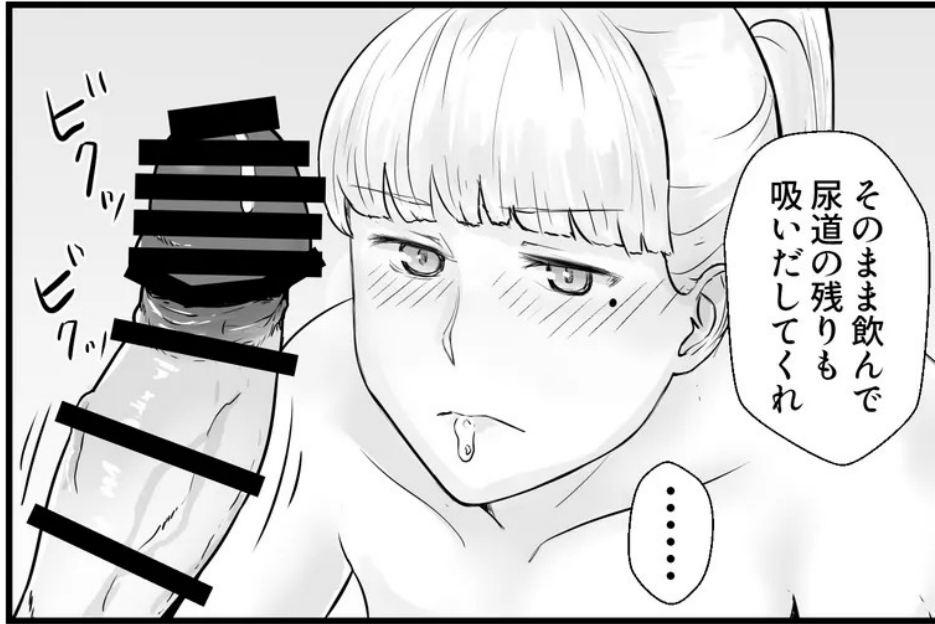
チャポン

いふふ





まだ勃ってるなんて



…やはり今夜もしなければならぬようです



よく似合っとするぞ

カママ

…っ

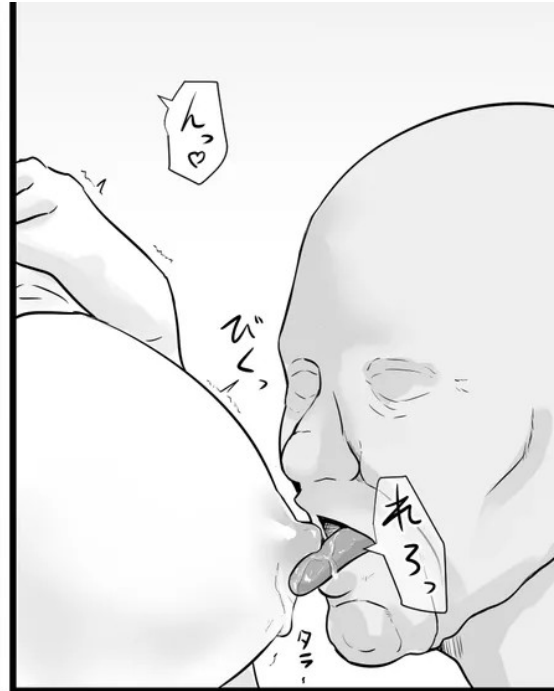
こんないやらしい下着を着ることになるとは…

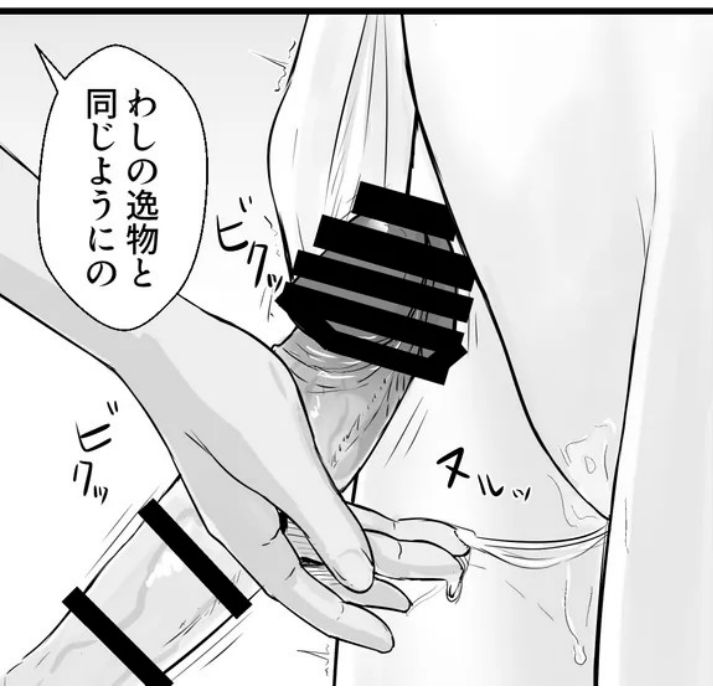
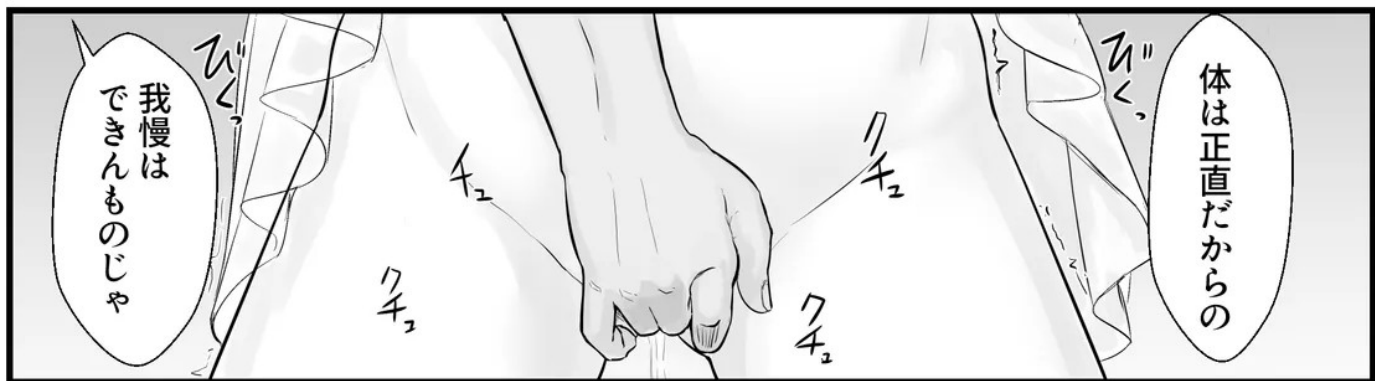
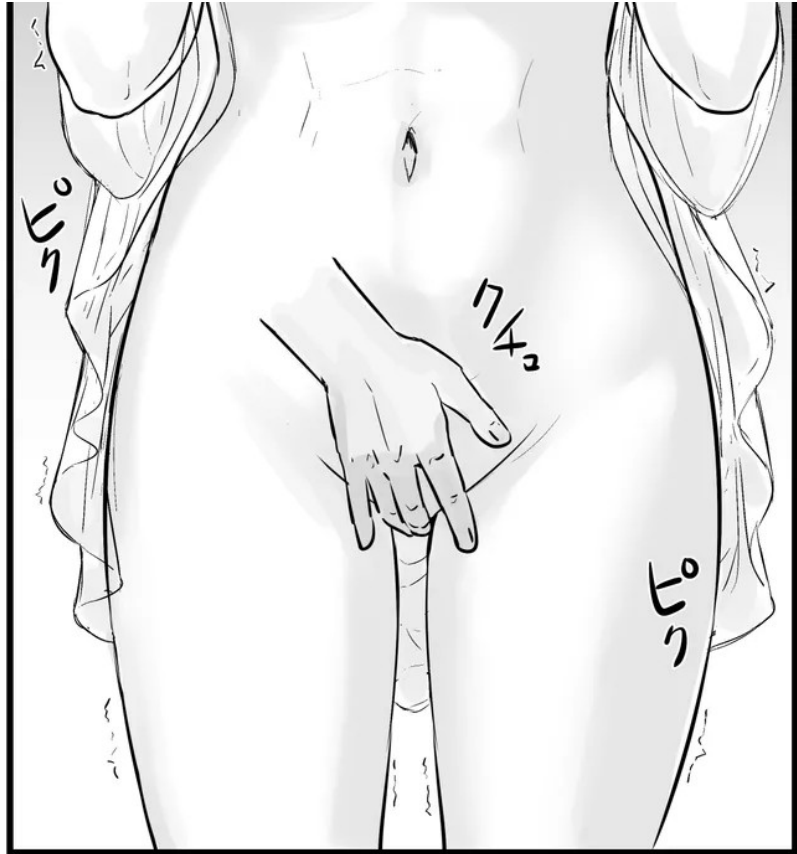
たくし上げて
よう見せてくれ

こんなに透けてたら
なんの意味も
ないでしょう…！

尻だけでなく
胸もたわわに
実っておるわ

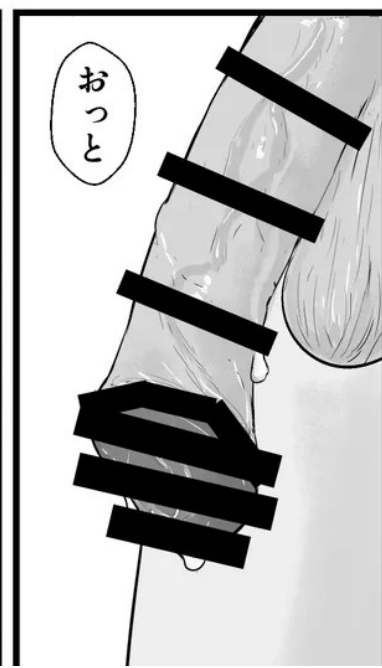
どれ今日は
夫の代わりに
味見してやろう

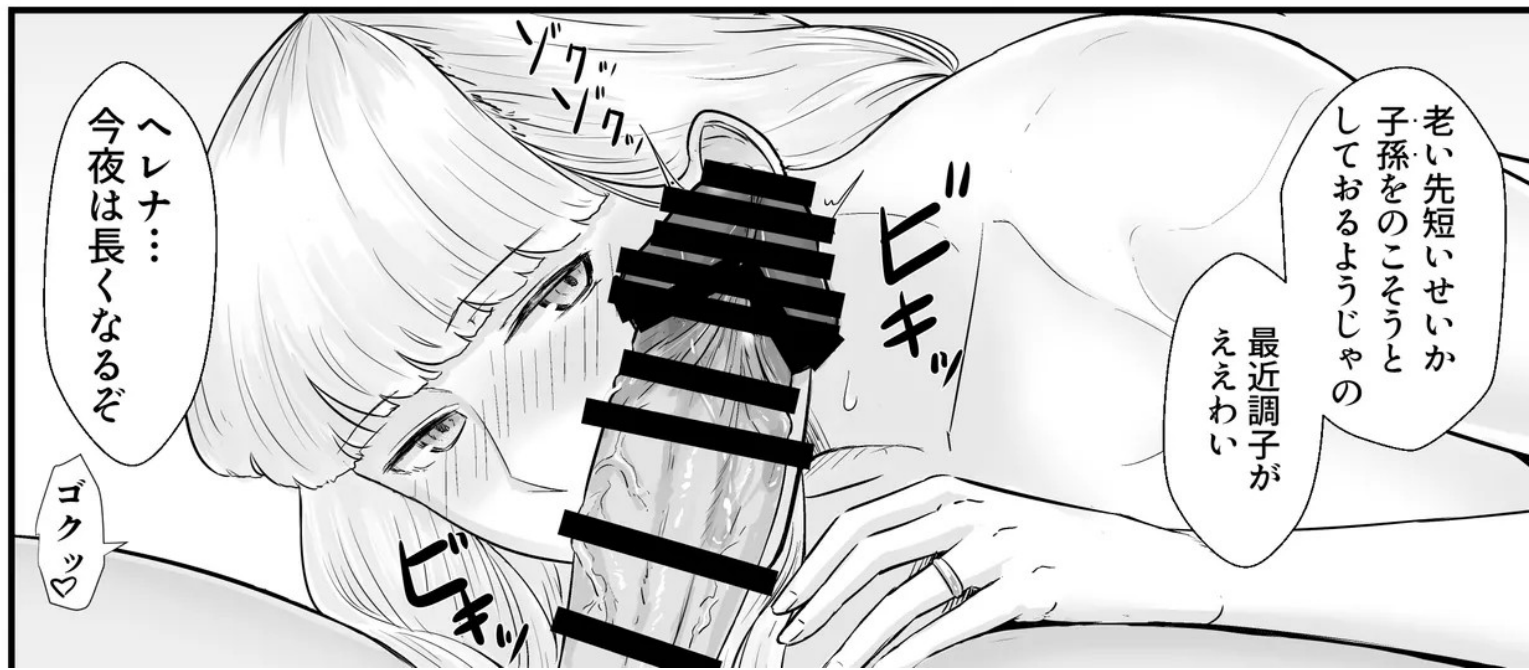
















…ごめんなさい

すっかり陽が
昇ってしまったのう

ハンスさん

玉袋までなめとつたら
朝食の準備を頼むぞ

ふあい♡

冬の間だけだから

